

平成 30 年度

海外農業・貿易投資環境調査分析事業のうち
ロシアにおける病院食等展開推進委託事業実施報告書

東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 26 階
株式会社 JTB 新宿第 2 事業部

目次

事業の概要.....	- 3 -
本事業の目的	- 3 -
本事業の実施項目	- 4 -
【コンセプト】ロシアの高齢化社会へ向けた介護領域へのアプローチ	- 4 -
関連事業者	- 5 -
事業の実施内容	- 6 -
1 介護食品や機能性食品等のテスト導入にあたっての事前準備	- 6 -
1) 日本側事業参加者の公募	- 6 -
2) ロシア側のニーズの把握	- 8 -
3) 病院食等のテスト導入までの流れ	- 14 -
4) EAC マーク取得支援	- 14 -
5) 「黄金の秋」における日本の介護食や機能性食品の紹介及びアンケート調査	- 18 -
2 介護食品及び機能性食品等のテスト導入	- 23 -
1) 介護食品及び機能性食品等のテスト導入にあたって	- 23 -
2) 日本の介護食品及び機能性食品等の試食・アンケート調査	- 23 -
3) 日本・ロシア連携による嚥下食に関する開発・改良された食品のテスト導入	- 25 -
3 嚥下食や機能性食品等のロシアの病院食へのテスト導入	- 26 -
1) 医療・栄養学のカンファレンスでの嚥下食の調理実演と病院での意見交換	- 26 -
2) 嚥下食や機能性食品等のロシアの病院食へのテスト導入の実施	- 32 -
4 ロシア向け病院食レシピの開発	- 36 -
1) 日本とロシアの専門家の連携による病院食レシピの開発	- 37 -
2) ロシア病院食等事業関係者の日本招へい	- 41 -
3) 農林水産省 食料産業局とロシア高齢者クリニック間の協力に関する覚書の署名	- 41 -
4) A 社における「流動食・高齢者食品の取組について」に関する意見交換	- 42 -
5) 中村丁次博士による「日本の公衆栄養学」セミナー	- 43 -
5 まとめ	- 44 -
6 各事業取組みにおけるアンケート調査結果	- 47 -

事業の概要

ロシアの高齢化社会へ向けた介護領域へのアプローチ

平成 28 年 5 月の日露首脳会議において、安倍総理からプーチン大統領に提示された 8 項目の日露経済協力プラン（(1) 健康寿命の伸長、(2) 快適・清潔で住みやすく、活動しやすい都市作り、(3) 中小企業交流・協力の抜本的拡大、(4) エネルギー、(5) ロシアの産業多様化・生産性向上、(6) 極東の産業振興・輸出基地化、(7) 先端技術協力、(8) 人的交流の抜本的拡大）の具体化に向けた動きが加速しています。

このうち、農林水産省では、ロシアの健康寿命の伸長に役立つ協力として病院食・介護食品分野における協力を行っています。日本と同様に高齢化社会が進むロシアにおいては、食の安全性を踏まえた健康寿命の伸長へとつながる高品質な病院食、介護食品、機能性食品が求められています。

本事業では、ロシア側研究機関・病院をはじめダイエットドクター、管理栄養士、日本とロシアをつなぐ食と医療関連事業の現地コンサルタントが連携して、ロシアの病院及び薬局において日本の介護食品、機能性食品及び病院食のテスト導入等を実施しました。

本事業の目的

本事業は、平成 28 年 5 月の日露首脳会談で安倍総理からプーチン大統領に提示された 8 項目の「日露経済協力プラン」のうち、「健康寿命の伸長―医療水準を高め、ロシア国民の健康寿命の伸長に役立つ協力」の一環として実施されました。

平成 29 年度、農林水産省はロシアにおいて日本式の病院食等の提供に向けた基礎データを収集、日露双方関係者の関心度合い等を調査した結果、ロシアにおいて介護食や機能性食品、病院食等を提供する場合には、一般の食品としての認証基準やロシア語表示への対応に加え、ロシア保健省の定めた基準を満たす必要があること、また、調査をより掘り下げ、課題や対応方向を明らかにする必要があることを認識するに至りました。他方で、ロシア側関係者からは、日本の技術力・知見を活用し、ロシアの市場に合った商品を共同で研究開発していきたいという要望を多く聞き取ることができました。

本事業の目的は、ロシアへの展開に関心のある日本の介護食や機能性食品、病院食等の関係者（日本側参加者）とロシアの病院や食品の開発等に関する公的機関（ロシア側参加者）等が連携し、現地のニーズに対応した商品等を選定、テスト導入し、その結果を検証することにより、ビジネスベースの具体的展開に繋げていくことです。

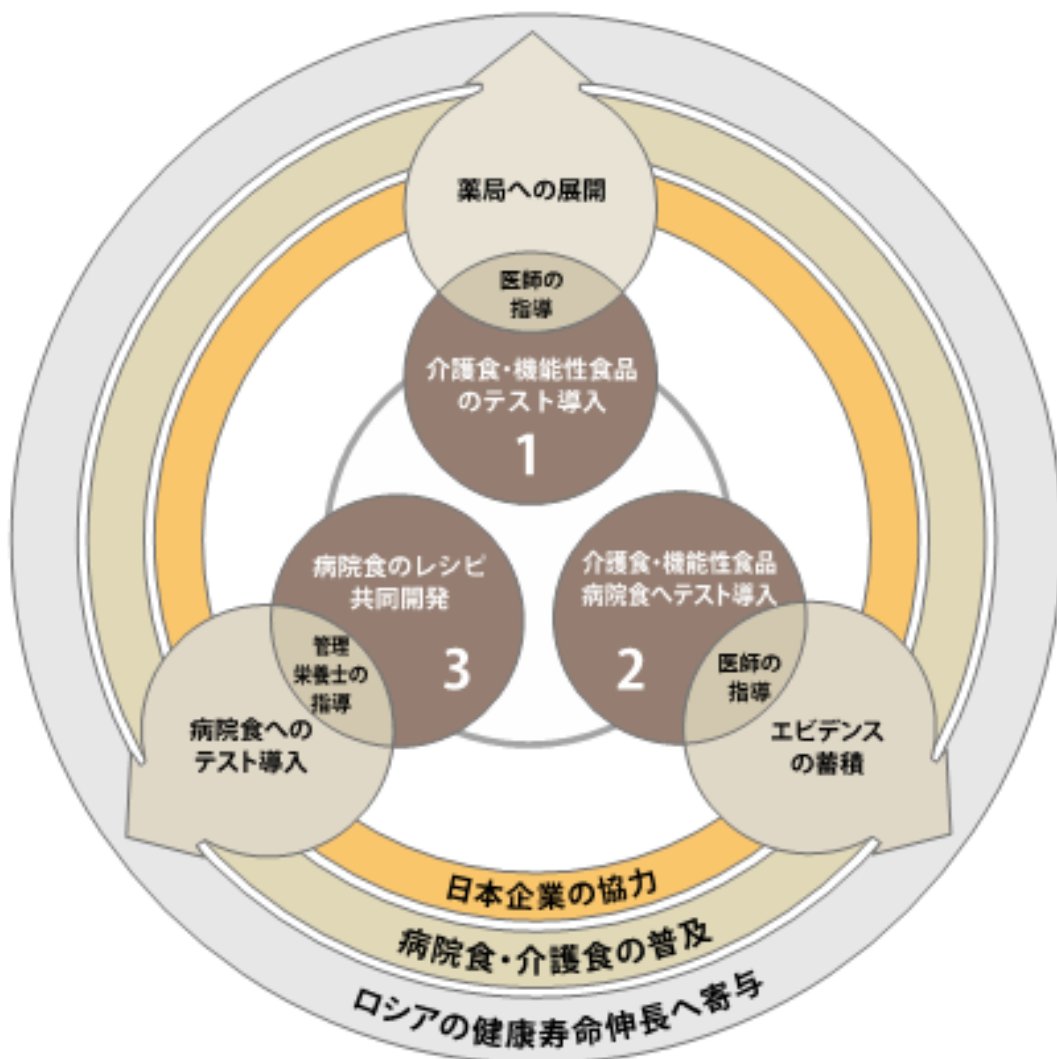
また、テスト導入を通じて、ロシアへの展開に際して必要な認証や許認可取得手続き等の情報や要件等への対応方向等を日本側参加者と共有し、多くの日本の介護食や機能性食品、病院食等事業者のロシア展開を推進するものです。

本事業の実施項目

- (1) 介護食品や機能性食品等のテスト導入にあたっての事前準備
- (2) 介護食品や機能性食品等のテスト導入
- (3) 介護食品や機能性食品等のロシア病院食へのテスト導入
- (4) ロシア向け病院食レシピの開発

【コンセプト】ロシアの高齢化社会へ向けた介護領域へのアプローチ

日本の介護食品及び病院食等によるロシアの健康寿命伸長への寄与を目指して
高齢化社会が進むロシアにおいて、現地ダイエットドクター、日本とロシアをつなぐ食と医療関連事業の現地コンサルタント、日本の管理栄養士そして医学博士協力のもと、薬局、病院へと介護食・機能性食品を長期的な視点で展開していくものです。



関連事業者

日本業界団体

- 日本介護食品協議会
- 公益財団法人 日本健康・栄養食品協会
- 日本メディカルニュートリション協議会
- 一般社団法人 日本流動食協会

日本個別企業

- （社名非公表）12 社

日本研究機関

- 公立大学法人神奈川県立保健福祉大学
- 国立循環器病研究センター

ロシア側事業者

- 連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）
- ロシア高齢者科学クリニックセンター（高齢者クリニック）
- ヨーロピアンメディカルセンター（EMC）
- ロシア鉄道中央ヘルスケアセンター（鉄道病院）
- ABC メディツィナ（ABC 薬局）

事業の実施内容

1 介護食品や機能性食品等のテスト導入にあたっての事前準備

日本の介護食品や機能性食品等の製造・販売事業者、病院食等提供事業者（日本側参加者）とロシアの病院や食品の開発等に関する公的機関（ロシア側事業参加者）が連携し、日露双方のテスト導入参加者、日本側テスト導入品目等の選定、必要な認証や許認可取得手続き等、テスト導入に際し必須となる事案を精査し、段階的に取組みました。

1) 日本側事業参加者の公募

テスト導入を円滑に実施するため、担当職員との協議の上、日露双方の事業参加者に協力を仰ぎました。

（１）日本側参加者

- ・農林水産省食料産業局企画課
- ・関係団体（介護食協会・日本健康栄養食協会・メディカルニュートリション協会・流動食協会）

（２）ロシア側参加者

- ・連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）
附属病院 院長 Zainudinov Zainudin Musaevich Mr.
附属病院 副院長 Starodubova Antonina Vladimirovna Ms.
- ・ロシア高齢者科学クリニックセンター（高齢者クリニック）
副センター長 Kotovskia Yulia Viktorovna Ms.

ア 関係団体等を通じた公募

【日時】平成30年6月4日～28日

以下の関係団体を通じて本事業を告知する案内メールを発信し、日本側事業参加者の公募を実施しました。

【関係団体】

- 日本介護食品協議会
- 日本メディカルニュートリション協議会
- 一般社団法人 日本流動食協会
- 公益法人 日本健康・栄養食品協会

イ LAPITA を通じた公募

JTB が運営するグローバル事業支援支援サイト「LAPITA」(<http://www.lapita.jp/>)を通じて応募を受け付けると同時に、同サイトの会員7,000社に対して本事業の告知を行いました。

日本企業グローバルビジネスサポートLAPITA (JTB)

問い合わせメルマガ登録

平成30年度海外農業・貿易投資環境調査分析事業のうち ロシアにおける病院食等展開推進事業

～日本の介護食品、機能性食品等をロシアへ～

ロシアの高齢化社会へ向けた介護領域へのアプローチ

2016年5月、日本から提案された8項目の日露協力プラン（（1）健康寿命の伸長、（2）快適・清潔で住みやすく、活動しやすい都市作り、（3）中小企業交流・協力の抜本的拡大、（4）エネルギー、（5）ロシアの産業多様化・生産性向上、（6）極東の産業振興・輸出基地化、（7）先端技術協力、（8）人的交流の抜本的拡大）の具体化に向けた動きが加速しています。

この一環として、農林水産省では、海外農業・貿易投資環境調査分析事業のうちロシアにおける病院食等展開推進事業を実施いたします。

日本同様、高齢化社会が進むロシアにおいては、食の安全性を踏まえた健康寿命の伸長へとつながる高品質な介護食品や機能性食品、病院食が求められています。

本事業ではロシア側（モスクワ）研究機関・病院をはじめ、日本とロシアをつなぐ食と医療関連事業の現地コンサルタント、日本の専門家が連携して、ロシアの病院や薬局へのテスト的導入・病院食等のレシピ共同開発および日本の病院食のオペレーション指導を実施いたします。

欧州最大の人口1億4000万人を抱えるロシア市場への進出を検討中の企業様、ロシアにおける事業可能性の調査をお考えの企業様はぜひ、この機会に本事業への参画をお願い申し上げます。

1. 介護食品や機能性食品等のテスト的導入

- ロシアの薬局や売店において、日本の介護食品や機能性食品等をテスト的に導入します。（サンプル配布やテスト販売など）
- テスト導入時にアンケート調査を行い、現地の嗜好に合った商品への改良・開発を行います。
⇒ アンケート調査を通じて、現地の嗜好に合った商品の改良や販路の開拓に役立てていただけます。

<事業での支援内容（※）>

ウ 公募結果（応募数、企業・団体名、商品名・商品概要）

公募の結果、11 社より 41 品目の応募をいただきました。

2) ロシア側のニーズの把握

ニーズ把握のために訪問等を行ったロシアの機関

- ①連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）及び同附属病院
- ②ロシア高齢者科学クリニックセンター（高齢者クリニック）
- ③ヨーロッパアンメディカルセンター（EMC）
- ④ロシア鉄道中央ヘルスケアセンター（鉄道病院）

①連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）及び同附属病院

【日時】平成 30 年 7 月 31 日

【出席者】

（附属病院）Zainudinov Zainudin Musaevich Mr. 院長

Starodubova Antonina Vladimirovna Ms. 副院長、栄養研究所学術/治療部門所長代理

（栄養研究所）Nikitjuk Dmitry Borisovich Mr. 所長

Tutelyan Viktor Aleksandrovich Mr. 学長

Starodubova Antonina Vladimirovna Ms. 学術・治療部門所長代理

（兼 附属病院副院長）

Smirnova Elena Alexandrovna Ms. 事務長

最初に栄養研究所附属病院を訪問し、病院長をはじめ現場で働いているドクター10名程度に対し、日本から持参した介護食品及び機能性食品等のプレゼンテーションを行い、試食していただいた上で意見交換を実施しました。附属病院は高血圧や生活習慣病の患者を多く扱うため、高齢者向け食品への関心は高くないが、C社乳酸菌機能性食品（500ml）については強い関心に加え、「ぜひ協力したい」との意向が示されました。また、低糖質麺やクロレラにも関心が示され、病院の専門分野に合致した商品やロシア国内で流通していない商品に対する関心が伺えました。続いて、栄養研究所を訪問し、日本側から病院食事業の今後の計画等を説明した上で、所長らと今後の教育のあり方について議論を行いました。この中で日本側と協力するにあたり、農林水産省と栄養研究所（またはロシア保健省）との間で協力に関するMOUを結び、その下で企業等との契約を行い、具体的な協力を進めるという提案がなされました。具体的な協力としては、商品の認証取得に向けた臨床検査を同研究所で実施すること、日本企業と協力して共同で製品開発をすること、日本の食品を附属病院で導入することの3事項が提案されました。

試食の結果、判明したニーズ

- ・甘さを抑えたものが良い
- ・天然原料使用も、特殊性がほしい
- ・栄養補給・ダイエット・特定機能
- ・臨床検査の必要、機能性食品としての証明
- ・ロシア顧客が求める味の開発

【写真】連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）



【写真】連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）附属病院



②ロシア高齢者科学クリニックセンター（高齢者クリニック）

【日時】 平成 30 年 8 月 1 日

【出席者】

Kotovskaia Yulia Viktorovna Ms. 科学課 課長

Runikhina Nadezhda Konstantinovna Ms. 高齢者課 課長

Ostapenko Valentina Sergeevna Ms. 老人病医師

Tyukhmenev Evgeniy Aleksandrovich, Mr. 外来部門長

日本側から病院食事業の今後の計画等を説明するとともに、日本から持参した介護食品及び機能性食品等のプレゼンテーションを行い、試食していただいた上で意見交換を実施しました。

高齢者クリニックにおいては、栄養研究所と同様に、日本との協力の強い関心が示され、日本とのプロジェクトを前に進めたいという趣旨の発言がありました。高齢者向けの食品である A 社栄養補助食品、B 社栄養補助食品、D 社介護食品を中心に紹介したところ、いずれの商品も高評価でした。

試食の結果、判明したニーズ

- ・ロシア顧客が求める味の展開
- ・価格の調整

【写真】 ロシア高齢者科学クリニックセンター（高齢者クリニック）





③ヨーロッパ医療センター（EMC）

【日時】平成30年8月2日

【出席者】

Russ Irina Sergeevna Ms. 栄養医師
Batsmanova Raksana Arslanovna Ms. 看護師
Galeeva Olga Ravilevna Ms. 栄養医師
Gardashnik Rozanna Isaakovna Ms. 子供病院の主治医

日本側から病院食事業の今後の計画等を説明するとともに、日本から持参した介護食品及び機能性食品等のプレゼンテーションを行い、試食していただいた上で意見交換を実施しました。

かねてから日本商品全般の品質や信頼性の評価が高く、持参した商品の中でもD社水分補給ドリンクゼリー及び栄養補給ゼリー、A社栄養補助食品・コーンスープ味などの高齢者商品に対する強い興味が伺えました。

試食の結果、判明したニーズ

- ・嚥下障害者用食品としての展開
- ・栄養補給源として
- ・価格調整

【写真】ヨーロッパ医療センター（EMC）



④ロシア鉄道中央ヘルスケアセンター（鉄道病院）

【日時】平成30年8月2日

【出席者】

Babaev Andrey Gennadievich Mr. 物流部長

Dianova Nuria Khasanovna Ms. 主栄養士

Terentiev Oleg Konstantinovich Mr. 物流部門の主任エンジニア

日本側から病院食事業の今後の計画等を説明するとともに、日本から持参した介護食品及び機能性食品等のプレゼンテーションを行い、試食していただいた上で意見交換を実施しました。日本の病院内で提供される病院食や治療食に興味を持っており、病院食の分野に積極的な反応がありました。

試食の結果、判明したニーズ

- ・甘さ（砂糖）を抑えたもの
- ・化学成分表、配合情報の提示

【写真】ロシア鉄道中央ヘルスケアセンター（鉄道病院）



3) 病院食等のテスト導入までの流れ

- (1) 介護食品・機能性食品の特性を踏まえてテスト導入用商品を選定
- (2) 選定商品確定後、日本の各企業とロシア法人輸入企業間で契約書を締結（1～2 ヶ月）
- (3) ロシア国内で流通するために必要な適合証明書（EAC）取得に向け、検査用サンプルに関する情報及び通関書類を通関業者に提出
- (4) EAC 発行機関から税関に対し、検査用サンプル通関を証明するレターを発行（1～2 週間）
- (5) 検査用サンプル通関後、安全性検査を実施。問題なければ EAC 発行機関が適合証明書を発行（1～2 週間）。
- (6) テスト導入商品の EAC 取得証明シールは日本国内で貼付（1～3 週間）。
- (7) 病院との間でテスト導入の規模、内容、期間等を確定する（2 ヶ月）。
- (8) 病院が対象患者を選定する（1 ヶ月～）。
- (9) サンプルを病院に納入する（1 ヶ月）。※（8）（9）は平行して行うことが可能。
- (10) テスト導入の実施（10 日間～）。
- (11) 調査票の回収（2 週間～1 ヶ月）。
- (12) 病院からのフィードバック（テスト導入終了から1 ヶ月～）。

※上記は治療食としてではなく、一般の食品としてのテスト導入を行う場合の流れ

※（ ）内は、手続きに要した期間（栄養研究所の場合）。

4) EAC マーク取得支援

ロシアをはじめとするユーラシア経済同盟加盟国への輸出に際し、ユーラシア経済委員会の技術規則に基づいた安全・認証マーク「EAC マーク」の表示が必須となっています。

本事業では、テスト導入を行う介護食品及び機能性食品について EAC マークの取得を支援しました。

【介護食品及び機能性食品の EAC マーク取得までの流れ】

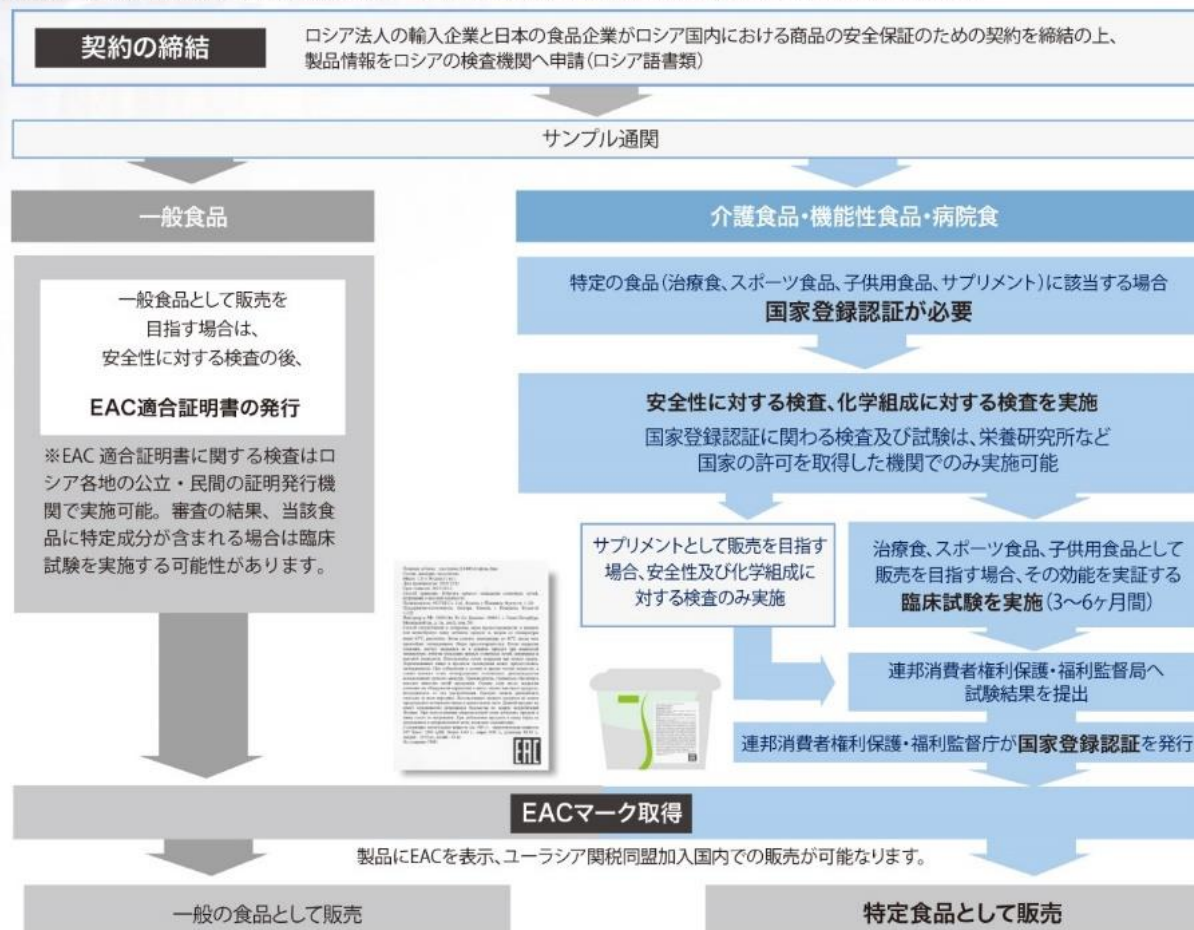
介護食品及び機能性食品のロシアへの輸出には、一般食品の EAC 申請以外に公的機関の臨床試験（3～6 ヶ月）をクリアする必要があるため、早期の申請準備が必要となります。
輸入者としての定款を持つロシア法人企業のみが EAC 認証の申請を行えます。

介護食品及び機能性食品のEACマーク取得までの流れ

介護食品及び機能性食品のロシアへの輸出には、一般食品のEAC申請以外に公的機関の臨床試験(3～6ヶ月間)をクリアする必要があるため、早期の申請準備が必要となります。

EACマークとは

ロシアをはじめとするユーラシア経済同盟加盟国への輸出には、ユーラシア経済委員会の技術規則に基づいた安全・認証マーク「EACマーク」の表示が必須となっています。EACマークは、ロシア法人企業のみがEAC発行機関に対して取得申請を行えます。



【EAC マーク取得の具体的手順】

- ・メーカー（輸出者）と EAC 認証取得申請者（輸入者）との間で、申請者（輸入者）を対象商品のユーラシア関税同盟内における責任者と定める契約を締結する。（本商流の場合、申請者（輸入者）が対象商品のユーラシア関税同盟内における輸入販売者となる契約）
- ・物流業者・通関業者を決定する。
- ・輸入者が輸出者との間で対象商品の売買あるいは無償提供に関する契約書を締結する。
- ・輸入者による Invoice/Packing list の作成、当 Invoice/Packing list 上には税番を記載する。

- ・輸出者または輸入者が、対象商品の成分表（パーセンテージ表示）、規格書（商標、製造者、容量、原材料、栄養成分表示、パッケージ画像、包装単位（ケースなど）、使用上の注意、賞味期限、製造年月日などの情報が記載されている）を物流業者（税関ブローカー・通関士）に提出する。
- ・物流業者・通関業者が EAC 発行機関からのレター、輸入に関する契約書、Invoice/Packing list、成分表、規格書を元に通関の準備をする。
- ・税関によって、最終的に税番が確定する。

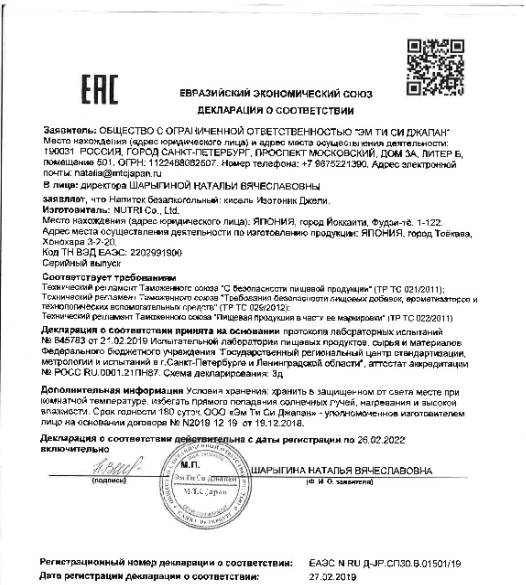
EAC 発行機関附属、あるいは個別の検査機関にて安全性に関する検査を実施する。

検査を通過した場合、EAC 発行機関が EAC 認証を対象商品に付与する。

【EAC 認証の取得】

全 15 種類の商品に対し、EAC 認証を取得。

企業名	商品名
A 社	栄養補助食品 (125ml) 4 種類 (風味別)
B 社	栄養補助食品 (100ml) 4 種類 (風味別)
C 社	乳酸菌機能性食品 (500ml)
D 社	栄養補給ゼリー 3 種類 (風味別)、水分補給ドリンクゼリー、とろみ材、ゼリー化材

EAC 認証 (例 D 社 水分補給ドリンクゼリー)	商品に添付した EAC ラベル (一例)
 Заявитель: ОБЩЕСТВО С ОГРАНИЧЕННОЙ ОТВЕТСТВЕННОСТЬЮ "ЭМ ТИ СИ ДЖАПАН" Место нахождения (адрес юридического лица) и адрес места осуществления деятельности: 190031, РОССИЯ, ГОРОД САНКТ-ПЕТЕРБУРГ, ПРОСПЕКТ МОСКОВСКИЙ, ДОМ 3А, ЛИТЕР Б, помещение 501, ОГРН: 1122408022607. Номер телефона: +7 9970221390. Адрес электронной почты: nat@emtsi.ru В лице директора ШАРЫГИНОЙ НАТАЛЬИ ВЯЧЕСЛАВОВНЫ заявляет, что Нпиток-исель Изотоник Джики Изготовитель: NUTRI Co., Ltd. Место нахождения (адрес юридического лица): ЯПОНИЯ, город Йокохама, Фудзи-кё, 1-122. Адрес места осуществления деятельности по изготовлению продукции: ЯПОНИЯ, город Токио, Токио-ку Хондзю 3-2-20. Код ТН ВЭД ЕАЭС: 2202991900 Серийный выпуск: Соответствует требованиям Технический регламент "Техническое сырье "С безалкогольный напиток" (ТР ТС 021/2011); Технический регламент "Техническое сырье "Трибулус бивалопити" (ТР ТС 022/2011); Технический регламент "Техническое сырье "Трибулус бивалопити" (ТР ТС 022/2011); Технический регламент "Техническое сырье "Трибулус бивалопити" (ТР ТС 022/2011); Декларация о соответствии принята на основании протокола лабораторных испытаний № 545783 от 21.02.2019 Испытательной лаборатории пищевых продуктов, сырья и материалов Федерального бюджетного учреждения "Государственный региональный центр стандартизации, метрологии и испытаний в г. Санкт-Петербурге и Ленинградской области", аттестат аккредитации № РОСС RU 0001.21П-87. Схема декларирования: Зд Дополнительная информация Условия хранения: хранить в защищенном от света месте при комнатной температуре. Избегать прямого попадания солнечных лучей, нагрева и высокой влажности. Срок годности 180 суток. ООО "Эм Ти Си Джипан" - уполномоченное изготовителем лицо на основании договора № N2019.12.19 от 15.12.2019. Декларация о соответствии действительна с даты регистрации по 26.02.2022 включительно М.П. ШАРЫГИНОЙ НАТАЛЬИ ВЯЧЕСЛАВОВНЫ (подпись) (И.О. Фамилия) Регистрационный номер декларации о соответствии: ЕАЭС N RU Д-П.С130.В.01501/19 Дата регистрации декларации о соответствии: 27.02.2019	 Нпиток-исель Изотоник Джики Состав: ионизированное вещество (заменитель), цитрат натрия, подсластитель (стевия), аскорбиновая кислота, ароматизатор, аспартам, кальций, хлорид калия, глютамат натрия, сульфат магния. Масса: 100 мл. Дата производства: 2018/11/21 Срок годности: 2019/05/19 Способ хранения: Избегать прямого попадания солнечных лучей, перегрева и высокой влажности. Хранить в защищенном от света месте при комнатной температуре. Производитель: NUTRI Co., Ltd., Япония, г. Йокохама, Фудзи-кё, 1-122. Предприятие-изготовитель: Токус, Япония, г. Токио, Хондзю 3-2-20. Импортер в РФ: ООО "Эм Ти Си Джипан" 190031, г. Санкт-Петербург, Московский пр., д. 3а, лит.Б, пом. 501 Способ употребления и дозировка, меры предосторожности: отделить содержимое упаковки и, не выливая, выпить. Проверить бутылку. Потянуть верхнюю часть и открыть. Меры предосторожности: Использовать сразу после вскрытия упаковки. Из соображений гигиены отказаться от повторного использования контейнероупаковки. Не использовать продукт, если вы обнаружили нарушение целостности или ненормальный вид упаковки, а также нарушения в цвете, запахе и вкусе продукта после вскрытия упаковки. Падение или удар могут стать причиной нарушения целостности упаковки. При заморозке свойства продукта теряются. Не замораживать продукт. При сдаливании упаковки возможен вытек содержимого наружу. Горышко может быть острым. Соблюдайте осторожность. Использование данного продукта не может предусловить аспирацию пищи в дыхательные пути. Содержание питательных веществ (на 100 г): энергетическая ценность 4 Ккал/ 16,7 кДж. Белки 0,00 г, жиры 0,00 г, углеводы 00,80 г, сахар - 53 мг, калий - 17 мг, вода - 99 г. Не содержит ГМО

*各 EAC シールの表示内容
品目名・商品名
原材料
容量
製造年月日
消費期限
保存方法
メーカー名
工場名
輸入者名
使用上の注意
一日の摂取量目安
栄養表示
遺伝子組み換え (無)

5)「黄金の秋」における日本の介護食や機能性食品の紹介及びアンケート調査

日本政府が参加するロシアでの食のイベント等へ参加し、サンプル配布や日本の介護食や機能性食品に関する技術の説明等により PR を図りました。

「黄金の秋」における日本の介護食や機能性食品の紹介及びアンケート調査

【名称】 黄金の秋（ロシア農業展示会）2018

【日時】 2018 年 10 月 10 日（水）～13 日（土）

【開催地】 開催地：ロシア連邦・モスクワ市 VDNH（全ロシア博覧センター）

【主催者】 ロシア農業省

【内容・展開】 日本の介護食や機能性食品の紹介、試食及びアンケート調査

黄金の秋は、毎年秋にモスクワで開催されるロシア農業省主催の農業展示会で、2018 年で 20 回目を迎えました。70 以上のロシア国内の州・地方から 1,300 社以上が商品を展示し、外国企業も複数出展しています。展示総面積約 7 万㎡、来場者は約 14 万人で、メドヴェージェフ・ロシア連邦首相も開会式に参列しました。

展示会では病院食等展開推進事業に公募していただいた各企業の商品を展示し、試食に提供するとともにアンケート調査を実施しました。ロシアにおける介護食品・機能性食品の認知度、ニーズなどロシアの一般消費者の声を聞くことができました。

また、最終日である 13 日には、日本の介護食品及び機能性食品等に関してロシアの方々に理解を深めていただくための 30 分間のセミナーを開催しました。

【写真】 ジャパンブース外観



黄金の秋 2018 で紹介した日本の介護食品及び機能性食品等は以下の通り。

A 社	栄養補助食品(125ml) (少量・高栄養の経口栄養補助食品栄養補給飲料) 4 種類
B 社	栄養補助食品(100ml) (少量・高栄養の経口栄養補助食品・栄養補給飲料) 4 種類
C 社	乳酸菌機能性食品 (500ml) (乳酸菌を配合した体脂肪を減らす飲料・機能性食品)
D 社	とろみ材、ゼリー化材、水分補給ドリンクゼリー、栄養補給ゼリー (咀嚼・嚥下困難者向け食品)
E 社	特定保健用食品 (食物繊維の働きで糖分や脂肪の吸収を抑え食生活改善)
F 社	トマトジュース (血圧が高めの方に・機能性食品)
G 社	和食のレトルト食品 (4 段階の食べる力に合わせたユニバーサルデザインフード)
H 社	健康補助食品 (淡水産の緑藻類の一種で天然由来のホールフード)
I 社	糖質 50%オフ低糖質麺 (糖尿病患者や糖質制限に適している)
J 社	粉末緑茶 メチル化カテキンを含有したアレルギーを抑制するお茶・アントシアニンを含有したお茶)
K 社	鮭精製魚油機能性食品 (世界唯一脂溶性ビタミン全てとオメガ 3 を 45%含有)
L 社	緑茶製品 (エピガロカテキンガレードが他の品種よりも多く含まれているためカテキン含有量が高くまるごと摂取でき、抗アレルギー抑制 (花粉症・ハウスダクト等) に期待される)

【写真】 来場者に対し、上記介護食品及び機能性食品を紹介・配布



アンケート調査結果は P. 49

セミナーの実施

ジャパンプース内にセミナースペースを設けて、日本食、日本の介護食・機能性食品等を紹介し、ロシアの方々に各製品の特長や理解を深めていただくためのセミナーを実施しました。プレゼンテーションの内容については、事前に発表者と逐次通訳者の間で打ち合わせを行い、通訳者にも十分理解させるように努めました。

セミナーエリアには、75インチ大型モニター、ノートPC、マイク・スピーカー、演台、作業台、聴衆用の席（12席）を用意し、受付や展示コーナーへの来場者に向けて参加を呼びかけました。各プレゼンテーションの前に通訳者からロシア語でプレゼンテーション内容の事前告知をマイクを利用して行い、内容により集客の高低はあったものの、一部満席になるような活況ぶりで、日本の食文化へのロシア人の関心の高さがうかがえました。

プレゼンテーションの合間には、農林水産省作成の日本食PR動画を放映し、通り掛かりの参加者が足を止めて動画を視聴する姿も見受けられました。

【写真】セミナー開催時の様子



セミナー内容（抜粋）

ロシアへのテスト導入を前提とした日本の機能性を有する介護食・栄養補助食品のご紹介

- ・低栄養をサポートする機能性食品の紹介

超高齢化社会の到来により、要介護認定者は今後も増加の一途をたどると予想され、それに伴って在宅要介護者の数も増え続けると考えられている。さらに、日本では在宅要介護者の4人に3人が低栄養リスクを抱えている。（A社栄養補助食品、B社栄養補助食品）

- ・生活習慣病予防、体脂肪を減らす機能性を有する食品の紹介

独自の乳酸菌が含まれ、体脂肪を減らす機能があるので、体脂肪が気になる方及び肥満気味の方に適している飲料（C社乳酸菌機能性食品）

- ・嚥下をサポートする機能性を有する食品の紹介

薬とは違う、人間が本来持っている、自己治癒力を大切にする。

介護状態であっても食べることを、いつまでも楽しむための栄養療法という考え方に基づいた製品（D社とろみ材及びゼリー化材）

- ・介護食として硬さや粘度を規格化した機能性を有する食品の紹介

かむ力や飲み込む力といった食べる機能が低下した方にも、おいしい食事を楽しんでいただきたいとの思いから開発された、4段階の食べる力に合わせたユニバーサルデザインフード（G社 和食のレトルト食品）

ロシア連邦政府関係者による日本ブース訪問

「黄金の秋 2018」の開会式に、ロシア連邦政府からドミトリー・メドヴェージェフ首相、アレクセイ・ゴルディエフ副議長、ドミトリー・パトシェフ農業大臣、日本から吉川農林水産大臣が出席しました。

メドヴェージェフ首相は各ロシア国内から出展をされている農業展示のブースの視察後、ジャパンブースも訪問し、吉川農林水産大臣から介護食品及び機能性食品等が紹介されました。

【写真】講演するメドヴェージェフ首相



【写真】農林水産省ブースを訪問するメドヴェージェフ首相と吉川農林水産大臣



2 介護食品及び機能性食品等のテスト導入

1) 介護食品及び機能性食品等のテスト導入にあたって

日本の介護食品や機能性食品等のロシアにおけるテスト導入を実施するにあたってロシアの栄養研究機関及び病院等と連携して、実施内容を精査、商品特性に合わせたアンケート調査等ロシア市場への参入を前提としたテスト導入及び調査を実施しました。

また、日本側とロシア側事業参加者との連携によりロシア側のニーズに合わせ改良された食品の紹介及び試食会を行いました。

2) 日本の介護食品及び機能性食品等の試食・アンケート調査

ロシア国内に複数の薬局とクリニックを展開するロシア企業と連携し、モスクワ市内の薬局にて日本の介護食品・機能性食品の試食・アンケート調査を実施しました。アンケート項目にはロシア市場を見据え、販売予想価格を提示し、品質などの商品特性及び嗜好性について消費者の生の声を調査することができました。

ABC メディツィナ（ABC 薬局）におけるアンケート調査

一般消費者を対象とした、介護食品・機能性食品等の試食及びアンケート調査

ア 実施場所：ABC 薬局（モスクワ）

【ABC 薬局の特長】

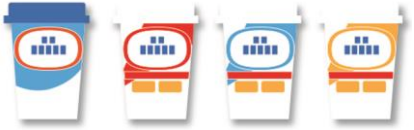
ロシアのトップ 50 に入る民間医療チェーン「ABC メディツィナ」附属の薬局。

モスクワに 7 店舗展開。当チェーンはモスクワ市内及びその周辺に 10 のクリニックを持ち、上記 7 店舗中 2 店舗はクリニック内にある。チェーンの CEO Mr. Oleg Kaybelov は日本渡航歴があり、自社薬局内に日本製品コーナーを設けたいと考えている。

イ 実施期間：1 回目：3 月 8 日（金） 2 回目：3 月 15 日（金）

ウ 対象者：薬局顧客 60 名（アンケート） 薬局関係者 3 名（ヒアリングのみ）

エ 対象商品（企業名・商品名・配布数・味・イメージ）

A 社	栄養補助食品(125ml) 4 種類（フレーバー） 各味 24 個 計 96 個	ヨーグルト味	
		コーンスープ味	
		ストロベリー味	
		白桃ヨーグルト味	
B 社	栄養補助食品(100ml) 4 種類（フレーバー） 各味 15 個 計 60 個	バナナミルク味	
		コーヒー牛乳風味	
		いちごミルク味	
		バニラ風味	
C 社	乳酸菌機能性食品（500ml） 24 本		
D 社	栄養補給ゼリー 3 種類（フレーバー） 各味 30 個 計 90 個	オレンジ味	
		青りんご味	
		ピーチ味	
	水分補給ドリンクゼリー 30 本		
	とろみ材 20 包		

オ 実施内容

朝 8 時～夜 9 時にかけて ABC 薬局が入っているクリニック 1 階ロビーにて試食会を実施。

【写真】 試食会場



※アンケート結果は P. 56

3) 日本・ロシア連携による嚥下食に関する開発・改良された食品のテスト導入

D 社における、嚥下食に関する開発・改良された食品のテスト導入

【日時】平成31年2月28日（木）

【場所】D 社

【内容】・嚥下食に関する説明

- ・同社製品を用いた嚥下食品の調理実演・試食
- ・意見交換

ロシア側のニーズに基づき日本のとろみ材を用いて、病院食嚥下食として改良された介護食の調理実演・試食を通して、導入にあたり日本側・ロシア側との意見交換を行いました。

<D 社製品とろみ材・ゼリー化材を用いたロシア側ニーズに即した嚥下食メニュー>

- ・りんごジュース（D 社とろみ材使用）
- ・ボルシチ（肉）（D 社ゼリー化材使用）
- ・ボルシチ（じゃがいも）（D 社おかゆ用ゼリー化材使用）
- ・カーシャ（D 社おかゆ用ゼリー化材使用）

【写真】D 社にて嚥下食メニューの調理実演・試食



3 嚥下食や機能性食品等のロシアの病院食へのテスト導入

テスト導入に先立ち、日本から専門家をロシアへ派遣して一般的なロシアの病院食の物性を変えて嚥下食として提供するための現地病院関係者への調理実演、レクチャー及びアンケート調査を行いました。

1) 医療・栄養学のカンファレンスでの嚥下食の調理実演と病院での意見交換

【カンファレンス名称】 XVII Russian wide Congress with international attendance

“Fundamental and applied aspects of Nutritional science and dietology. Curative, preventive and sports nutrition”

第 17 回ロシア国際会議

「スポーツ、ダイエット、予防と医療栄養の基礎と適用」

【期間】 平成 30 年 10 月 29～31 日

【場所】 Russia Radisson Slavyanskaya Hotel（モスクワ）

（事前準備：7/31 日栄養研究所附属病院、8/1 高齢者クリニックにそれぞれ訪問）

【日本からの派遣専門家】

D 社 薬剤師

【対象】 カンファレンス参加ダイエットドクター等病院関係者

ロシア高齢者科学クリニックセンター（訪問）

連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター附属病院（訪問）

【実施方法】 ・嚥下についてのレクチャー

・嚥下食の調理実演、レクチャー

一般的なロシアの病院食（肉料理、茹で人参、トマト）を日本のとろみ材等を用いて嚥下食の調理実演を行うとともに、嚥下食に関するレクチャー及びアンケート調査を行いました。

連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター及びロシアの栄養学・医療関係機関が主催する医療・栄養学のカンファレンスにおける展示ブースにおいて、日本の介護食品及び機能性食品を展示、アンケート調査を実施しました。ロシアの栄養学・医療関係者に対し日本の嚥下食や機能性食品の認知度の向上を図るために、嚥下食の調理実演、ビデオ放映等を行いました。高齢者に負担の少ない量で豊富な栄養素を摂取できる栄養補助食品や、とろみを段階的に変えられるとろみ食用テクスチャー改良材への注目度は高く、高齢化社会の課題解決に向けたロシア関係者の関心の高さがうかがえました。

また、カンファレンスの事前準備として連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター附属病院及びロシア高齢者科学クリニックセンターを日本の介護食品企業が訪問し、嚥下食に関する説明及

び意見交換を実施、カンファレンスで調理実演する食材として肉料理を選定しました。会場では火器が使用できないためビデオを介し、調理工程を説明。最後の盛り付け部分を実演しました。温度変化により流動物が固まり、成形することで元の美味しそうな料理へと変化、食味だけでなく見た目も味わいの一部であると再認識されました。

【写真】カンファレンス参加の様子



カンファレンスのレクチャー時におけるスライド(抜粋)



Copyright © 2011, Nutri Co., Ltd. All Right Reserved

【写真】嚥下食の説明・試食





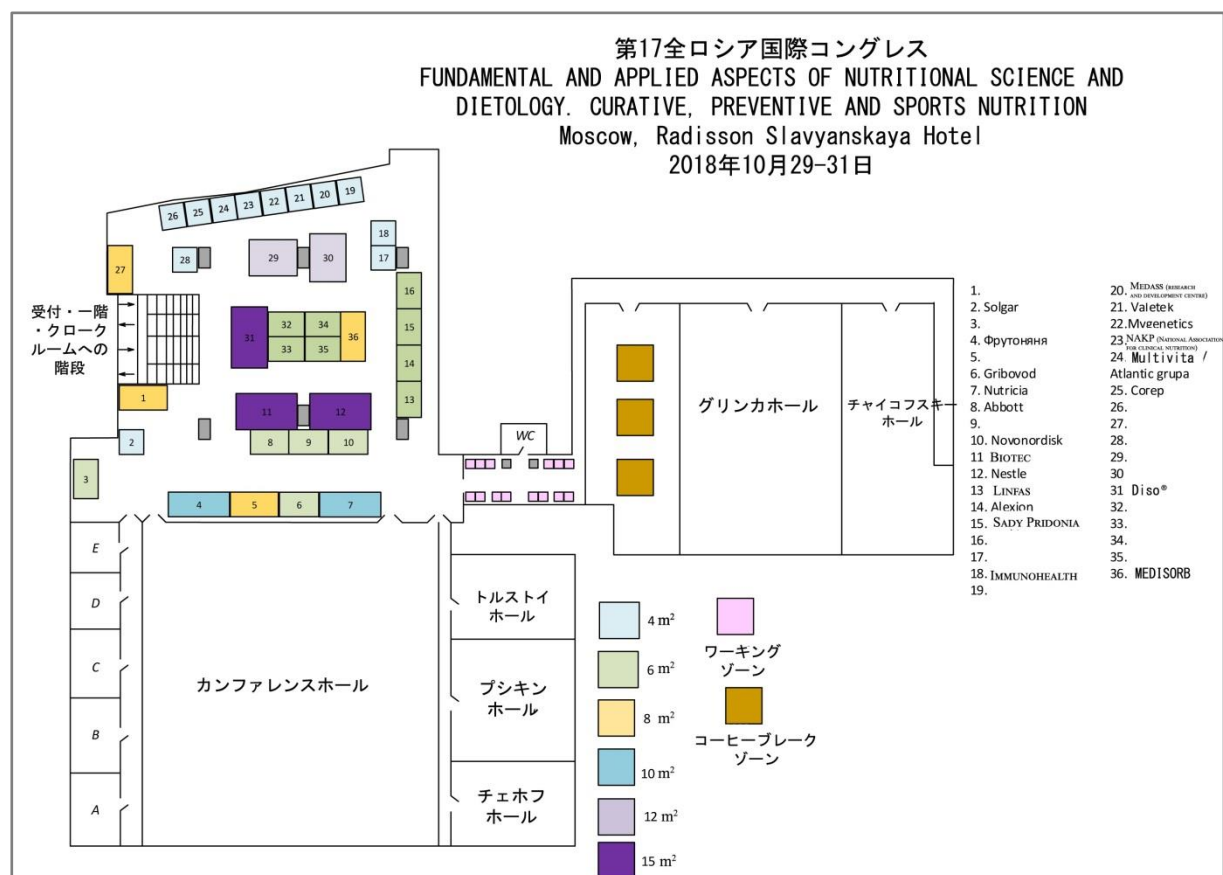
カンファレンススケジュール

10月29日					
	カンファレンスホール	<ムソルグスキー>ホール	<トルストイ>ホール	<プーシキン>ホール	<チェーホフ>ホール
	セクター 1	セクター2	セクター3	セクター 4	10：00～10：45
10：00～11：30	治療食に関する課題	子供の栄養に関して	母乳が乳児に対してどのくらいの期間栄養源として効果があるか？	基礎研究：食品品質と安全管理の経営戦略	セクター5.1
			1時間目：母乳についての新たな提案		臨床的なデータに基づいて、健康な人におけるヨーグルトの影響を考える
					10：45～11：30
					セクター5.2
					機能的消化器疾患のコントロールについて
11：30～11：45	休憩：ポスターセッション				
	セクター6	セクター7	セクター8	セクター9	11：45～12：30
12：00～13：30	メタボリックシンドロームとがん患者の安全な栄養補給：個人の臨床栄養学的アプローチ	国際臨床栄養学学会	母乳が乳児に対してどのくらいの期間栄養源として効果があるか？	基礎研究：食品品質と安全管理の経営戦略	セクター10.1
			2時間目：イノベーション：母乳内オリゴ糖の効果		子供に対する栄養不足と機能的消化器疾患の予防
					12：30～13：15
					セクター10.2
					腸の栄養について
13：15～13：45	休憩				
	カンファレンスホール				
13：45～14：25	コンGRES開会式				
14：25～14：45	コンサートプログラム				
14：45～16：45	本会議				
16：45～17：00	休憩：ポスターセッション				
17：00～18：30	本会議				

10月30日					
	カンファレンスホール	<ムソルグスキー>ホール	<トルストイ>ホール	<プーシキン>ホール	<チェーホフ>ホール
	セクター11	セクター12	セクター13	セクター14	セクター15
10:00~11:30	生化学的な食べ物の安全性：基本的に適応されている側面について	ロシア連邦におけるGMOの売上改善について：原材料と完成品の品質及び安全性に関する州規制	健康のための栄養と病気の原因となりうる接触について	治療および予防的な専門栄養食品について	研究者連合〈アイデアから実施まで〉によるプレゼンテーション
11:30~12:00	休憩				
	セクター16	セクター17	セクター18	セクター19	セクター20
12:00~13:30	国家プロジェクトのビタミン供給を増加させる革新的方法：元気に長生きする方法	ロシア連邦におけるGMOの売上改善について：原材料と完成品の品質管理における州規制	健康のための栄養と病気の原因	健康と長寿のための脂肪含有食品について	研究者連合〈アイデアから実施まで〉によるプレゼンテーション
13:30~14:00	休憩				
	セクター21	セクター22	セクター23	セクター24	セクター25
14:00~15:30	子供の身体発育とロシア連邦の成人における栄養評価	栄養学、身体発達とスポーツ：健康と長寿のための方法	学齢期の子ども達の世界食生活における環境	精神的、医学的、社会的観点からみるキリスト教の断食	研究者連合〈アイデアから実施まで〉によるプレゼンテーション
15:30~16:00	休憩				
	セクター26	セクター27	セクター28	セクター29	セクター30
16:00~17:30	元気に長生きするためのビタミン	スポーツで最高のパフォーマンスをするための革新的、科学的、系統的方法	小児消化器疾患の過去の問題を現代の方法で解決する	消化器系疾患のパersonナライズ化された食事療法：基本的に適応されている側面	YRSA2018コンクール受賞者のための授賞式 講評

10月31日					
	カンファレンスホール	＜ムソルグスキー＞ホール	＜トルストイ＞ホール	＜プーシキン＞ホール	＜チェーホフ＞ホール
10：00～11：30	セクター31 現代栄養学におけるゲノム技術とポストゲノム技術	セクター32 肥満について：実際の問題点	セクター33 アレルギー疾患の子供の食事療法およびビタミン欠乏の改善	セクター34 実際の実装までの方向性：品質改善戦略	セクター35 実際の食料安全問題：マイコトキシン
11：30～12：00	セクター36	セクター37	セクター38	セクター39	セクター40
12：00～13：30	地域的観点から見た栄養評価	肥満患者の現代的な管理方法	食物アレルギーのある幼児の管理に対する現実的な問題点	革新的なバイオテクノロジーは特別な食品を産み出す	動物性原料の工業処理
13：30～14：00	セクター41	セクター42	セクター43	セクター44	セクター45
14：00～15：30	医療科学とメディアの連携は健康的な生活をするための効果的な方法である	肥満とその関連疾患の診断	幼児の栄養について：何が新しいのか？	特定機能食品のベーカーリーとペストリー：開発の現代的な方法、新しい生産技術、実装の問題	子供の栄養のついて：生産の問題
15：30～16：00	セクター46	セクター47	セクター48	セクター49	セクター50
16：00～17：30	全ロシア会議 ＜ロシア栄養士・食品産業専門家連合＞	栄養素とヒトマイクロバイオームの形成と正当化の新しい方法	食物アレルギーの予測と予防における新たな言葉	ロシア連邦における食品産業発展の見込みと予測	北の地方や北極圏における栄養の最適化：基本的に適応されている側面
17：30～18：00	講評、採決会議、閉会式				

カンファレンス見取り図



※カンファレンスにおけるアンケート結果は P.52

病院における意見交換

【写真】連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）附属病院（10月31日）



【写真】ロシア高齢者科学クリニックセンター（10月31日）



2) 嚥下食や機能性食品等のロシアの病院食へのテスト導入の実施

介護食品・機能性商品等の病院におけるテスト導入

食品の臨床試験や医学・栄養学分野における学術研究においてロシア有数の専門機関である連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター附属病院、高齢者医療医学に多くの知見を持つロシア高齢者科学クリニックセンターの2医療機関において介護食品・機能性食品のテスト導入を実施しました。ロシアでは1年以上前からロシア保健省に申請し、承認を受けなければ、新たなメニューを病院食へ導入することができないため、今回のテスト導入では病院側と意見交換を行い、次年度以降に向けた本格的な導入への布石と位置付け、病院の間食を置き換える形でテスト導入を行いました。

また、将来的な日本企業との共同開発を視野に、介護食品・機能性食品の有効性を検証する意味でも有意義な取り組みとなりました。

■連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）附属病院

連邦栄養・バイオテクノロジー研究センターはロシア連邦科学・高等教育省管轄の研究機関であり、ユーラシア関税同盟における食品に対する適合証明の実施、技術規格策定ならびに医学、栄養学分野における学術研究を専門分野としています。食に関するロシア政府の政策に対する学術的方面からの支援や食の安全管理の分野における規則の策定、さらに新たに開発された治療食の審査から食品製造技術及びバイオテクノロジー開発に到るまでロシアの児童及び成人の寿命の伸長及びQOLの向上に関わる諸事業に携わっています。

ア 実施場所：連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）附属病院

イ 実施期間：8～10日間 2019年3月実施

ウ 対象者：連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）附属病院
入院患者 62名

B 社栄養補助食品 4種に 41人、C 社乳酸菌機能性食品に 10人、

D 社水分補給ドリンクゼリーに 11人、同じく D 社とろみ材、ゼリー化材に 16人

対象商品（企業名、商品名・味）

B 社	栄養補助食品 (100ml) 4 種類	バナナミルク味	
		コーヒー牛乳風味	
		いちごミルク味	
		バニラ風味	
C 社	乳酸菌機能性食品（500ml）		
D 社	水分補給ドリンクゼリー とろみ材 ゼリー化材		

エ 内容

対象患者に対し、8～10 日間 1 日 2～3 回（B 社栄養補助食品、D 社とろみ材）あるいは 1 日 1 回対象商品（C 社乳酸菌機能性食品、D 社水分補給ドリンクゼリー）を摂取してもらいました。

アンケート（全てロシア語で実施）： 結果は P. 74～

- ・ 栄養状態事前スクリーニング及びテスト導入後の栄養状態アセスメント用アンケート
（簡易栄養状態評価表 MNA®-SF（世界 12 カ国語に翻訳）に基づく）
- ・ 医師用アンケート
- ・ 患者用アンケート

■ロシア高齢者科学クリニックセンター（高齢者クリニック）

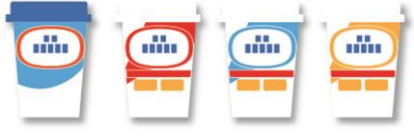
ロシア連邦保健省附属連邦国立国家予算高等教育機関「ロシア連邦保健省ピラゴフ記念ロシア国立研究医科大学」はロシア最大の医科高等教育機関の一つであり、1906年に母体となる組織が創設されて以降ロシア医学会における教育、学術及び技術的中心としての役割を担っています。2010年には、ロシアの医科高等教育機関として初めて、「国立研究大学」の称号をロシア政府から与えられました。高齢者クリニックはこの教育機関が管轄する高齢者医療対応病院です。

ア 実施場所：ロシア高齢者科学クリニックセンター（高齢者クリニック）

イ 実施期間：8～10日間 1日2～3回摂取 2019年3月実施

ウ 対象者：ロシア高齢者科学クリニックセンター 入院患者60名

A社栄養補助食品4種 43人、D社栄養補給ゼリー3種 17人

A社	栄養補助食品 (125ml) 4種類	ヨーグルト味	
		コーンスープ味	
		ストロベリー味	
		白桃ヨーグルト味	
D社	栄養補給ゼリー 3種類	オレンジ味	
		青りんご味	
		ピーチ味	

エ 内容

対象患者に対し、8～10日間1日2～3回対象商品を摂取してもらいました。

アンケート（全てロシア語で実施）：結果はP.60～

- ・栄養状態事前スクリーニング、及びテスト導入後の栄養状態アセスメント用アンケート（簡易栄養状態評価表 MNA®-SF に基づく）
- ・医師用アンケート
- ・患者用アンケート

ロシア側のニーズ

【嚥下について】

未だ嚥下障害という概念の認知度が低く、消化器の病気と混同されています。嚥下障害という分野そのものを開拓する必要があります。

【低栄養について】

高齢者クリニックでは、すでに Nutridrink などが導入されていますが、基本的にプロテインパウダーなど外的な添加物による栄養の強化が中心で、日本の栄養補助食品のように、食材の多様性や美的側面からの低栄養へのアプローチは行われていません。

このようなアプローチが実際に効果を持つかに対して関心があります。

【低脂肪について ロシアの糖尿病患者数】

正式登録されている糖尿病患者数：人口の 2.9%に該当する 430 万人

調査結果による糖尿病患者数：人口の 5.8%に該当する 800 万人

人口の 20%にあたる 3000 万人が糖尿病予備軍と言われており、こういう人々に対するアプローチが求められます。

（出典：ロシア保健・社会開発省附属国立内分泌学医療調査センター糖尿病研究所
Shestakova 所長 2017 年度）

4 ロシア向け病院食レシピの開発

ロシアの病院食の法令規則に則し、日本の病院食の特長を活かした病院食のレシピや献立を開発するため日本とロシアの専門家が連携して検討を行いました。

ロシアの病院食のメニューは、下記の法令に基づいて各病院が策定しています。個々の料理のレシピは、**下記 1)**の定める基準に基づいて制作された便覧（***下記 2)**にその代表的なものを挙げる）から選択されます。便覧は毎年、あるいは数年おきに改定され、使われる食材、半製品の納入元は、国立病院の場合、入札形式にて決定されます。

下記 2)に掲載されていないレシピを新規に病院食に取り入れる際は、該当レシピが下記法令に準拠しているかに関する検査が行われ、ロシア保健省に申請して承認を受けます。承認を得ると、該当レシピは便覧中に加筆され、ロシア国内の病院でその提供が可能になります。当承認の取得プロセスには1年以上の時間を要します。

ロシア側の法令規則上の留意点

1) メニュー導入について定める法令

ロシア保健省省令 330 号（2003 年 8 月 5 日付）「ロシア連邦の医療・予防医療機関における治療食の改善に向けての方策に関する省令」

ロシア保健省省令 395 号（2013 年 6 月 21 日付）「治療食に関する規定の承認に関する省令」

*2) ロシア病院食メニューについて定める便覧の代表例

- ❖ 『最適化された成分による病院（治療及び予防医療）食レシピカード集』 Tuteliyan V. A., Samsonov M. A. ほか、国立病院食協会、モスクワ、2008 年
- ❖ 『ロシア連邦医療機関の病院食に採用されている最適化された成分による料理を活用した 1 週間の食事メニュー、各対応メニュー用』 Tuteliyan V. A., Gapparov M.M. Baturin A. K. ほか、国立病院食協会、モスクワ、2014 年
- ❖ 『病院食レシピカード集 全 2 巻』 Samsonov M. A., Medvedeva I. V. Mataev S. I. ほか、中央ウラル出版、エカテリンプルク、1986 年
- ❖ 『便覧 ロシア食料品化学組成・エネルギー値一覧表』 Skurikhin I. M. Tuteliyan V. A., Deli Print、モスクワ、2007 年
- ❖ 『技術基準一覧 公衆栄養事業のためのレシピ・食料品一覧』、Khlebprodinform、モスクワ、1986 年

1) 日本とロシアの専門家の連携による病院食レシピの開発

国立循環器病研究センターとロシア病院関係者との意見交換

【日時】平成31年3月1日（金）

【場所】国立研究開発法人国立循環器病研究センター

大阪府吹田市藤白台5丁目7-1

大阪の国立循環器病研究センター(国循)を訪れ、日露の病院食についての意見交換及びかるしお病院食試食会を行いました。国循からは、センターの概要、食塩摂取量の状況や課題、国循の減塩の普及啓発活動、日本の病院食と病院における管理栄養士の役割について、ロシア病院関係者からは、ロシア国民の食塩摂取状況や課題について、それぞれ説明を行い、意見交換を行いました。

また、かるしおレシピを使った食事をとりながら調理長、栄養管理室長からかるしお料理について説明するとともに、調理法や国立循環器病研究センターの厨房内の様子をビデオで紹介し、食後には厨房や配膳システムの見学を実施しました。

ロシア側のニーズ

意見交換では、ロシア側より日本の病院食のシステムに関してそもそも知っていることが少ないため、概要的な説明から行って欲しいと要望がありました。

特に高齢者医療の分野における栄養学は、近年ロシアで注目を集めつつあることから、

日本の病院食について知見を深めた上で、国立循環器病研究センターをはじめとする日本側機関との協力について検討を行いたいとの意向が示されました。

ロシア側専門家

- 1: 連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）附属病院 院長

Zainudinov Zainudin Musaevich Mr.

- 2: 連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）附属病院 副院長、
栄養研究所学術/治療部門所長代理

Starodubova Antonina Vladimirovna Ms.

- 3: 高齢者クリニック副センター長

Kotovskaia Yuliia Viktorovna Ms.

日本側専門家

国立循環器病研究センター（敬称略）

- 1: 小川 久雄 理事長
- 2: 望月 直樹 理事 研究所所長
- 3: 小林 順二郎 病院長
- 4: 宮本 恵宏 予防検診部長
- 5: 赤川 英毅 かるしお事業推進室長
- 6: 平野 和保 かるしお事業推進室副室長
- 7: 竹本 小百合 かるしお事業推進室研究員
- 8: 長尾 信之 栄養管理室 調理師長

国立循環器病研究センター概要

国立循環器病研究センターは「病院」「研究所」「研究開発基盤センター」の3部門からなり、これら3部門を一体として運営していることが大きな特徴です。病院は、「心臓血管部門」と「脳血管部門」が併設され、連携して最先端の医療を提供している世界的にも稀有な施設です。2010年4月に設立された「研究開発基盤センター」は、臨床研究と疫学調査の推進、知的資産の活用など複合領域の研究を推進しています。

日本の病院食について・国循での取り組みの説明（概要）

- ・日本の病院栄養士の業務の変遷
- ・日本の病院食提供の流れ、病院食の種類
- ・嚥下食 食形態例

嚥下食 1	ゼリー食 コード 1-j	1200KCal	Pro. 40g	NaCL 5g
嚥下食 2	とろみ食 コード 2-2	1250KCal	Pro. 45g	NaCL 6g
嚥下食 3	ソフト食 コード 3	1250KCal	Pro. 50g	NaCL 6g
嚥下移行	きざみ食 コード 4	1250KCal	Pro. 50g	NaCL 6g

- ・市販とろみ材の説明、国循で使用される栄養剤(14 種)
- ・ONS 経口栄養補充 : Oral Nutritional Supplements

“かるしお” 病院食メニュー

国立循環器病研究センター（国循）では、食事から生活習慣病関連の予防や治療に取り組み、美味しく栄養バランスのとれた減塩食の開発を行っています。この減塩食は“かるしお”と呼ばれ、「塩をかるく使って美味しさを引き出す」という考え方をコンセプトとしています。国循では、塩分1食2g程度、1日合計6g未満になる減塩食を入院患者に提供しています。

ロシアの病院関係者（栄養研究所及び高齢者クリニック）を日本に招へいした際に国循を訪問し、日露の病院食の現状について意見交換会を行うとともに、かるしお病院食の試食会を行いました。ロシアの病院食レシピをベースに、ボルシチ、ビーフストロガノフ、そばのリゾット風など“かるしお”のノウハウを生かした病院食も提供されました。

【かるしお試食会】

< “かるしお” レシピ メニュー >

- ・豚肉味噌炒め
- ・赤魚と煮物盛り合わせ
- ・土佐煮
- ・チンゲン菜とイカの胡麻和え
- ・りんご

< オプションメニュー > ロシア料理の開発

- ・そばのリゾット風 Buckwheat risotto
- ・ボルシチ Borsch
- ・ビーフストロガノフ Beef stroganoff

【写真】 かるしお試食会とメニュー

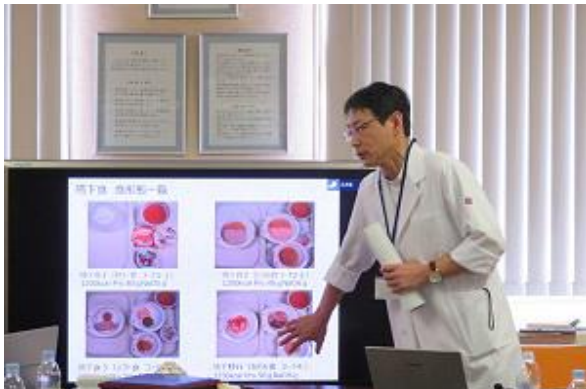


かるしお病院食は、素材の旨みを引き出し、しっかり味があっておいしいとロシア病院関係者からの好評をいただきました。

また、退院後の食事までも減塩食を続けられるかるしお認定商品の開発など多彩な取組みに対して感銘を受けていました。

また厨房の視察では、病院食の製造工程とオペレーションのノウハウの説明を受け、様々な意見交換が交わされました。

【写真】料理の説明、厨房にて製造工程の説明



2) ロシア病院食等事業関係者の日本招へい

ロシア側関係者（連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）附属病院長及び同副院長、ロシア高齢者科学クリニックセンター副センター長）を日本に招へいし、日本の公衆栄養学に関するセミナーの受講、介護食品等関係企業の訪問・視察、嚥下食の調理方法の視察、国立循環器病研究センターとの意見交換及びかるしお病院食の試食会等を行い、また日本の機能性食品や介護食品、病院食についても意見交換等を行いました。

【招へい期間】 2019年2月25日～3月3日（7日間）

【場所】： 東京・三重・大阪

2月27日 (水)	東京	農林水産省	・協力に関する覚書の締結 ※下記3) 参照
		A社	・流動食・高齢者食品の取組についての意見交換 ・商品紹介
		(公社) 日本 栄養士会会長	・神奈川県立保健福祉大学学長 中村丁次氏 ・日本の公衆栄養学 セミナー講習
2月28日 (木)	三重	D社	・製品紹介・日本の病院食紹介など ・D社製品を用いた嚥下食の調理実演・試食 ・工場見学
3月1日 (金)	大阪	国立循環器病 研究センター	・食事をとっていただきながら調理長、栄養管理室 長から「かるしお料理」の説明、調理法や国循の 病院の厨房の様子をビデオで紹介 ・施設見学

3) 農林水産省 食料産業局とロシア高齢者クリニック間の協力に関する覚書の署名

2月27日(水) 農林水産省にて、農林水産省食料産業局とロシア高齢者クリニックとの間で、介護食品、機能性食品及び病院食分野における協力覚書の署名が行われました。



4) A 社における「流動食・高齢者食品の取組について」に関する意見交換

【日時】 2 月 27 日（水）

【場所】 A 社

流動食や高齢者食品の主要メーカーの一つである A 社を訪問し、日本の超高齢化社会における高齢者の栄養状態、病院及び施設における流動食及び高齢者食、在宅介護における流動食の特徴、同社商品の使用例や使用方法の説明を受けるとともに意見交換を行いました。

- ・ A 社の高栄養食品の歴史
- ・ 日本の超高齢社会の特徴
- ・ 高齢者の増加、低栄養の悪循環
- ・ 病院・施設における流動食 ・ 高齢者食等
- ・ 商品の使用例、使用方法等

【写真】 A 社での意見交換会



5) 中村丁次博士による「日本の公衆栄養学」セミナー

【日時】 2月27日(水)

【場所】 JTB 霞が関ビル会議室 23 階 東京都千代田区霞が関三丁目 2-5

【テーマ】 「日本の公衆栄養学」

【講師】 (公社)日本栄養士会会長 神奈川県立保健福祉大学学長
中村丁次氏

日本栄養士会会長／神奈川県立保健福祉大学学長・中村丁次医学博士を招き、「日本の公衆栄養学」についての講義を受けるとともに、病院食のレシピ作成に向けた意見交換を行いました。

日本の公衆栄養学

- ・ 栄養欠乏からの脱却
- ・ 生活習慣病対策と栄養
- ・ 臨床栄養管理と給食管理の発展
- ・ 病院栄養障害 (Hospital Malnutrition) の問題
- ・ 入院栄養管理、入院時に栄養スクリーニングを行う
- ・ 管理栄養士による栄養アセスメント
 - 1) 食品/栄養摂取量 2) 臨床検査 3) 身体計測 4) 臨床症状 5) 既往歴
- ・ 特別用途食品の活用
特別用途食品とは、乳児の発育や、妊産婦、授乳婦、嚥下困難者、病者などの健康の保持・回復などに適するという特別の用途について表示を行うものである。
- ・ 病院栄養士の役割 1) 臨床サービス 2) 給食サービス
- ・ セミナーのまとめ「日本は、戦後の栄養欠乏と、高度経済成長後の過剰栄養の両方を予防することに成功し、栄養バランスの優れた日本食を形成し、世界一の長寿国を維持し続けている。この経験が、ロシアの人々の健康増進にも、貢献できればと願っている。」



D 社への訪問は P. 25、

国立循環器病研究センターへの訪問は P. 37 を参照。

5 まとめ

◆介護分野の市場が発展していないロシアには、日本の介護食品の参入が期待されている

現在、ロシアでは老年学及び高齢者医療に対する関心が高まりつつあり、介護食品・栄養機能性食品に対しても国立の研究機関や病院から注目が寄せられています。この流れを受け、今回展開を行った日本の介護食品・栄養機能性食品に対しても強い興味が示されました。

しかし、ロシアにおいて同分野は未だ発展途上にあり、一般消費者間での認知度はこれから高まっていくものと考えられます。そのため、市場への参入については、現地医師や専門家からの推薦を得ての販売が効果的と思われます。同様に、病院への導入を進めるとともに、また医師や栄養士などの医療関係者による、介護および高齢者医療の分野での介護食品・機能性食品の活用に関する啓蒙活動も必要と思われます。病院関係者からは、商品の認知度を上げるために、高齢者だけでなく若年の生活習慣病患者や精神疾患患者、またその他の疾患をもつ人々、美容医療分野などへの訴求を求める声もあがっています。

また現在ロシアで流通している介護食品・機能性食品においては、***政府により保護される国内製品**の展開が少なく、Danone 社や Nestle 社等の**外資系製品が主流**という状況です。そのため、市場が高額なそれらの外資系製品で寡占状態となり、特定の商品に需要が集中、価格が高騰しがちになっております。ここから、日本のメーカーにとって、品質・容量・価格の面で、より消費者に寄り添える製品を実現させていく、現地のニーズを掴んだアプローチが実現可能であると思われます。

***政府により保護される国内製品**：機能性食品に対しては、ロシアの法制度上、国家入札において国産品に**優遇措置**（輸入品と国産品が競合した際に、輸入品は評価額が 15%上乗せされる）がとられる。

◆病院でのテスト導入に参加いただいた各社（A 社・B 社・C 社・D 社）の製品について

◇A 社 栄養補助食品(125ml)

本事業の試食会で好評だったコーンスープ味、マスカット味など、味の展開が多い点も外資との差異化につながります。今後、ロシアで好まれるチョコレート味、ベリー味のラインナップへの追加も期待されています。

賞味期限が 1 年と長いのも導入の利点です。また、持ちやすいパッケージはストロー付きで、移動中でも手軽に摂取できると好評でした。

◇B 社 栄養補助食品(100ml)

--競合製品が少なく、参入しやすい

--小さなパッケージが便利

現在ロシアで流通している類似商品はその多くが輸入品であり、寡占状態のため価格が高騰しており、またラインナップの展開も狭められています。そのため、B 社栄養補助食品の多様な味の展開、小さく便利な容量に対して強い関心が寄せられました。

◇◇A 社・B 社栄養補助食品に共通して

--小容量で高栄養、多彩な味の展開、長い賞味期限、パッケージも好評

ロシアで現在流通している類似商品は Danone 社 Pediasure、Nestle 社 Peptamen、B.Brown 社 Nutricomp、Nutricia 社 Nutridrink など。どれも輸入品かつ 200ml 以上の容量がほとんどのため、より小型の日本製品である A 社及び B 社栄養補助食品にはチャンスがあります。

--多岐にわたる分野への可能性

これらの製品（栄養補助食品）は、高齢者・また低栄養への対応だけでなく、

- ・美容目的、減量用ダイエット商品として
- ・経管栄養食品として
- ・スポーツ及びスポーツ医療（神経学、精神学、外傷学）分野で、スポーツ食品として

など多様な分野への展開の可能性があることが本事業において明らかになりました。ロシアの病院・薬局関係者からは、その効能や利便性に対するロシア人消費者間での認知を高めるために、ぜひ国家認証登録を取得してほしいとの声があがっています。

◇C 社 乳酸菌機能性食品

--ロシア導入に「ぜひ協力したい」の声

ロシアでは人口の 20%が糖尿病予備軍と言われており、この疾患に対して社会から強い関心が寄せられています。そのため、糖尿病への改善へのアプローチのできる機能性食品として、本製品に対して病院関係者から大きな注目が集まりました。

特に、連邦栄養・バイオテクノロジー研究センターからは、強い関心とともに、ロシア導入に際して「ぜひ協力したい」との意向が示されました。

- ・ダイエット食品としてはロシアで流通している類似商品がなく、独占市場を築ける可能性が高い
- ・アステルパーム・スクラロース由来の甘味が、生活習慣病患者に適している

- ・当製品に含まれている乳酸菌自体の特許を取得すれば、ロシア連邦での独占輸入権を特定のロシア法人に付与できる
- ・病院で実施されている入院ダイエットプログラムにおいて、病院食として導入の可能性がある
- ・脂肪減少の効果を証明するために、ロシアで臨床実験を実施することもできる
(ロシアでは現状食用の乳酸菌は家畜用のものしか登録されておらず、人間に対する安全性の証明を提示する、あるいは現地で取得する必要がある)

◇D 社 栄養補給ゼリー、水分補給ドリンクゼリー、とろみ材、ゼリー化材

--嚥下食品が、ロシアの人々に「いつまでも美味しく食べる楽しみ」を

嚥下障害という問題に対する一般消費者の理解がまだロシアでは発展途上にあり、当分野における啓蒙活動が求められます。また、未だに嚥下障害と高齢者医療を結びつけた議論が未発達であることを受け、神経内科や消化器内科など、より広範な医療領域を含めたアプローチを求める声が伺えました。

D 社とろみ材およびゼリー化材は、ミキサーで攪拌した料理に添加することで料理のテクスチャーを変化させ、見た目にも美しく、咀嚼・嚥下の容易な嚥下食を形成します。通常の食事が困難になった患者に対する食欲増進効果が認められることから、病院の厨房や給食センターへの導入が考えられます。

またロシアの病院食においては、病院の厨房で調理する料理から、包装された既製品への転換を目指す病院が出てきており、D 社水分補給ドリンクゼリーおよび栄養補給ゼリーなど個包装ですぐに開封でき、手軽に水分・栄養を補給できる嚥下食品に対してロシア病院関係者から高い関心が集まっています。

特に D 社栄養補給ゼリーに対してはテスト導入やヒアリングの過程で、医療従事者、患者の双方から好意的な反応が多く寄せられました。

--食後の患者の気分が良くなったり、食欲が回復したりすることがある

--アルツハイマー病のケアに有効

--美味しい。機能性食品と意識せずに食べられる

--お腹が弱っている時、食欲のない時でも食べやすい

などの声は、食の楽しみ、美味しく食べる喜びが高齢の患者に対して複合的にポジティブな影響をもたらすことを証明しています。また、これからのロシア介護食品・栄養食品市場は、さらに、ピューレ状食品、ゼリー/ヨーグルト状個包装栄養補助食品、サプリメント等、ロシアですでに消費者間の認知が高いが、輸入品が多い分野においても、日本メーカーにとっての勝機が見込まれます。

6 各事業取組みにおけるアンケート調査結果

P49~

- (1) 【黄金の秋でのアンケート】 2018年10月10日（水）～13日（土）
イベント名称：黄金の秋（ロシア農業展示会）2018
場所：ロシア連邦・モスクワ市 VDNH（全ロシア博覧センター）
概要：一般来場者（200名）に日本の介護食・機能性食品の紹介、試食・アンケート
対象製品：機能性介護食品一般
掲載：アンケート調査結果（グラフ）

P52~

- (2) 【栄養学カンファレンスでのアンケート】 2018年10月29～31日
カンファレンス名称：XVII Russian wide Congress with international attendance Fundamental and applied aspects of Nutritional science and dietology. Curative, preventive and sports nutrition
（第17回ロシア国際会議 スポーツ、ダイエット、予防と医療栄養の基礎と適用）
場所：Russia Radisson Slavyanskaya Hotel（モスクワ）
概要：病院関係者・医療関係者（131名）に日本の介護食・機能性食品の紹介、試食後にアンケート調査
対象製品：C社乳酸菌機能性食品、D社水分補給ドリンクゼリー、とろみ材、ゼリー化材
掲載：アンケート調査結果（グラフ）

P56~

- (3) 【ABC薬局でのアンケート】 2019年3月8日（金）3月15日（金）
イベント名称：ABCメディツナ（ABC薬局）におけるアンケート調査
場所：モスクワ市 ABCメディツィナ附属薬局
概要：薬局顧客（60名）に対し日本の介護食・機能性食品の紹介、試食後にアンケート調査、感想を自由に提出いただく
および薬局側関係者（3名）にニーズを提出いただく
対象製品：A社栄養補助食品、B社栄養補助食品、C社乳酸菌機能性食品、D社栄養補給ゼリー、水分補給ドリンクゼリー、とろみ材、ゼリー化材
掲載：①薬局顧客に全製品の紹介・試食後のアンケート
②薬局顧客の主観的感想及び薬局側関係者のニーズ

(4) 【病院におけるテスト導入アンケート】 2019 年 3 月 8～10 日間

概要：下記二つの施設において、

入院患者（以下、患者と記す）を選択し事前状況を記し

（①栄養状態事前スクリーニング）

製品摂取期間終了後の状態・変化を記し（②栄養状態アセスメント）

患者の主観をアンケート調査（③患者用アンケート）

医師の主観をアンケート調査（④医師用アンケート）

患者の自由な感想・医師のニーズを調査（⑤患者の感想及び医師のニーズ）

I ロシア高齢者科学クリニックセンター（高齢者クリニック）

◆対象製品：A 社栄養補助食品、D 社栄養補給ゼリー

① 栄養状態事前スクリーニング

② 栄養状態アセスメント

③ 患者用アンケート

④ 医師用アンケート

⑤ 患者の感想及び医師のニーズ

II 連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）附属病院

◆対象製品：B 社栄養補助食品、C 社乳酸菌機能性食品、

D 社水分補給ドリンクゼリー、とろみ材、ゼリー化材

①栄養状態事前スクリーニング（※単発：1 日のみ）

②患者用アンケート（※単発：1 日のみ）

③栄養状態事前スクリーニング（本テスト）

④栄養状態アセスメント（本テスト）

⑤患者用アンケート

⑥医師用アンケート

⑦患者の感想及び医師のニーズ

（※単発なので栄養状態アセスメントは行わず、患者用アンケートのみ）

参考資料： I 各アンケートの質問票

(1) 黄金の秋 (2) 栄養学カンファレンス (3) ABC 薬局

(4) テスト導入アンケート

II グラフ化したアンケートの結果実数データ

(1) 黄金の秋 (2) 栄養学カンファレンス

1) 【黄金の秋でのアンケート】調査結果

【日時】2018年10月10日（水）～13日（土）

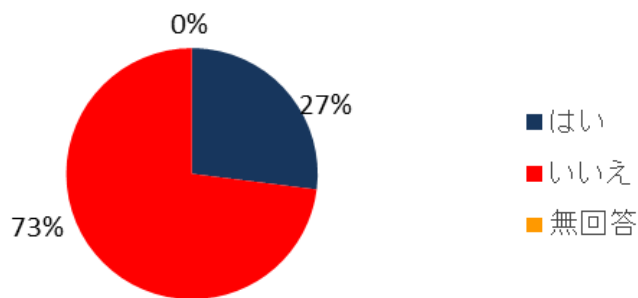
【イベント名称】黄金の秋（ロシア農業展示会）2018

【場所】ロシア連邦・モスクワ市 VDNH（全ロシア博覧センター）

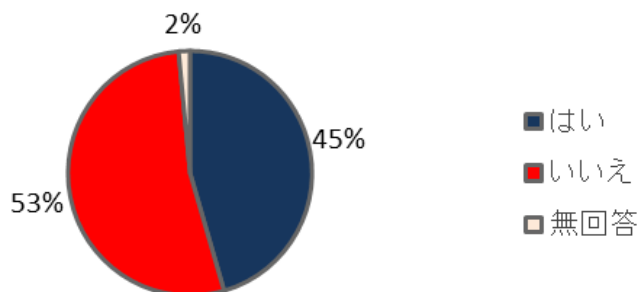
【概要】一般来場者（200名）に日本の介護食・機能性食品の紹介、試食・アンケート調査

【対象製品】機能性介護食品一般

Q1. 介護用機能性食品を使ったことがあるか (%)

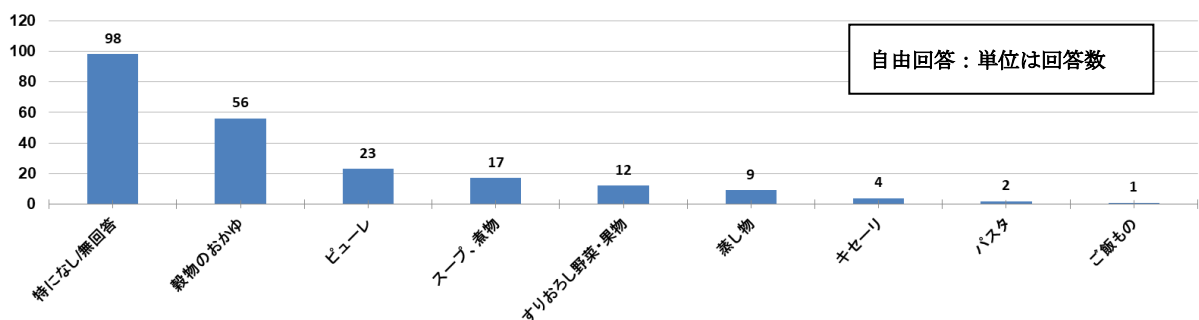


Q2. 家族内に咀嚼、嚥下に問題のある人はいるか (%)



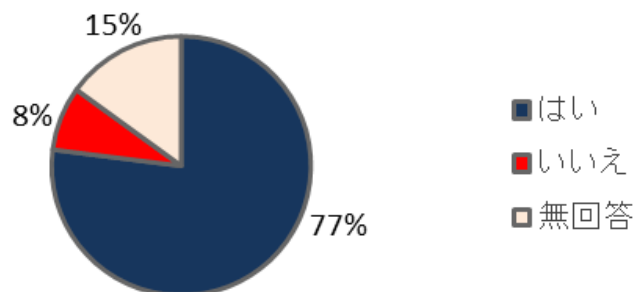
Q3.(Q2で「はい」と答えた人に対して)

咀嚼・嚥下に問題のある人に特別な料理を作っているか。その場合、どんな料理か。

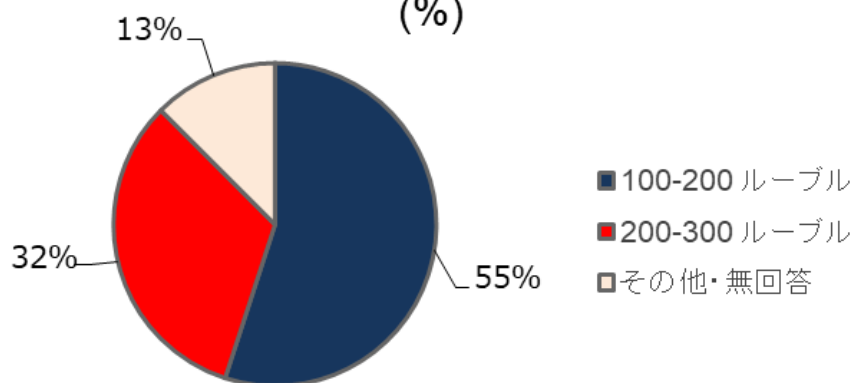


※キゼーリ：とろみのあるフルーツ料理で、デザートまたは飲料として供される。

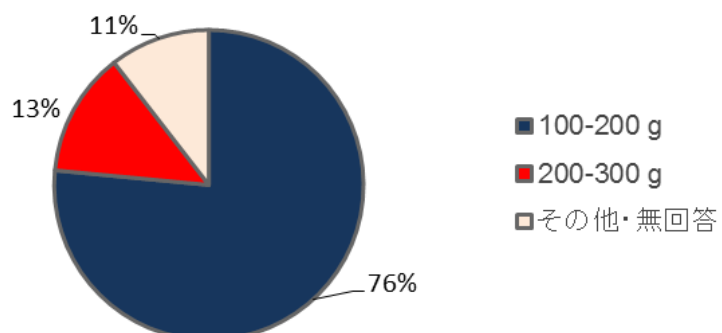
Q4. ロシアに介護用機能性食品の需要はあると考えるか(%)



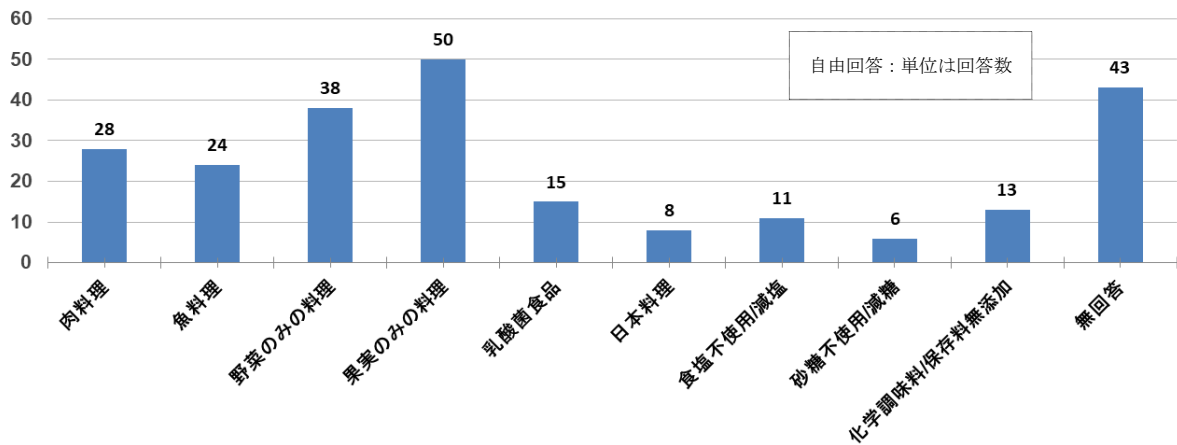
Q5. 各製品の価格はこの程度が良いか (%)



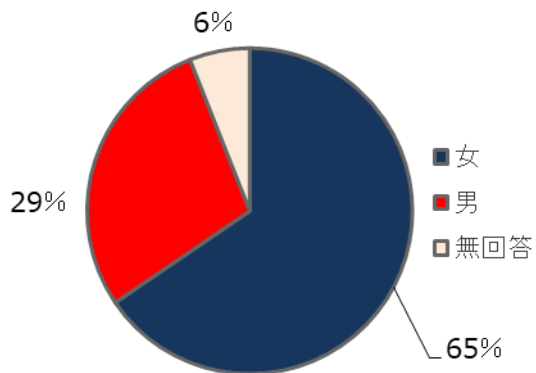
Q6. 各製品の容量はこの程度が良いか



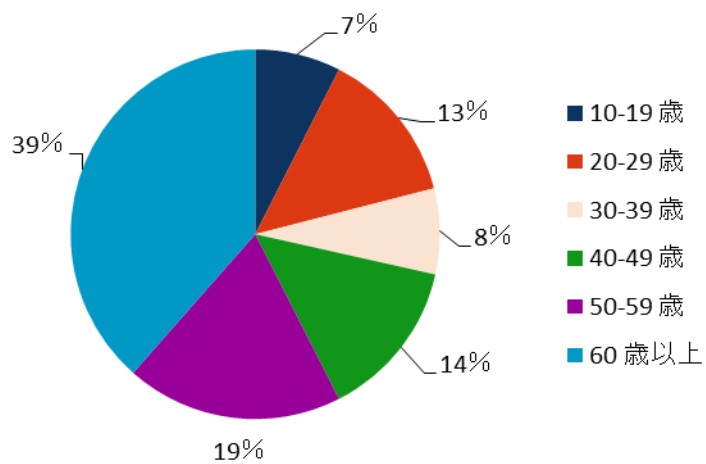
Q7. どのような料理・味の機能性食品があれば買ってみたいか



Q8. 回答者性別分布(%)



Q9. 回答者年齢分布(%)



2) 【栄養学カンファレンスでのアンケート】調査結果

【日時】平成30年10月29～31日

【イベント名称】” XVII Russian wide Congress with international attendance Fundamental and applied aspects of Nutritional science and dietology. Curative, preventive and sports nutrition”

「第17回ロシア国際会議 スポーツ、ダイエット、予防と医療栄養の基礎と適用」

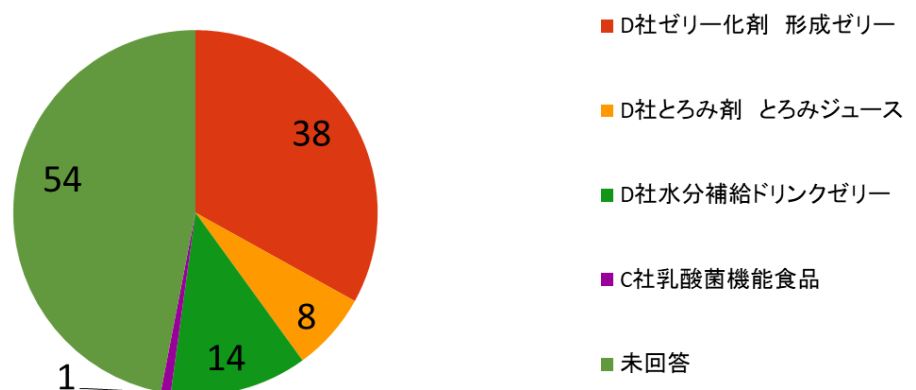
【場所】Russia Radisson Slavyanskaya Hotel（モスクワ）

【概要】病院関係者・医療関係者（131名）に日本の介護食・機能性食品の紹介、試食及びアンケート調査

【対象製品】C社乳酸菌機能性食品、D社水分補給ドリンクゼリー、とろみ材、ゼリー化材

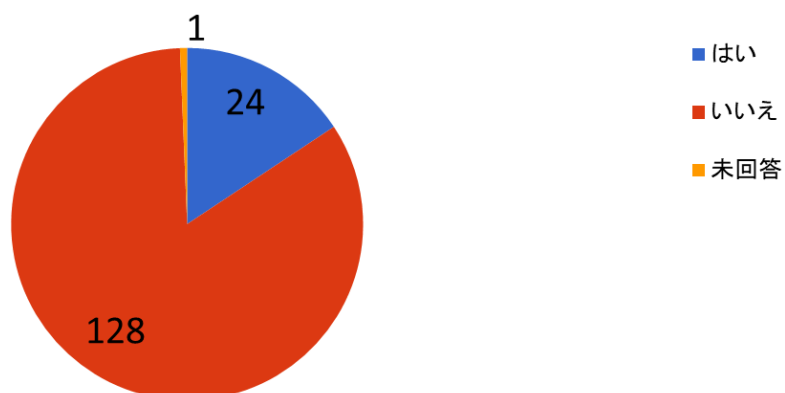
Q1. 今日あなたが紹介を受けた製品はどれですか。（○はひとつ）

単位（％）



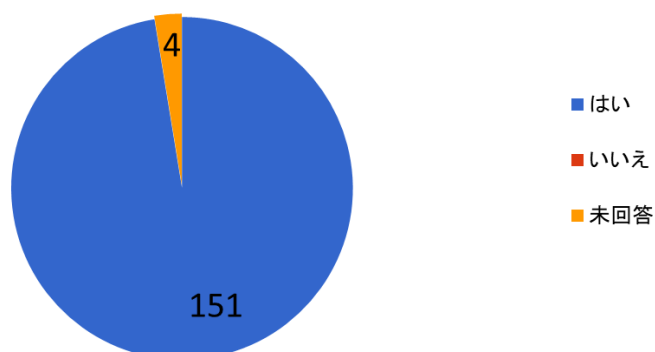
Q2. 紹介されていた製品に関して、類似の製品を使用した経験はありますか。

単位％



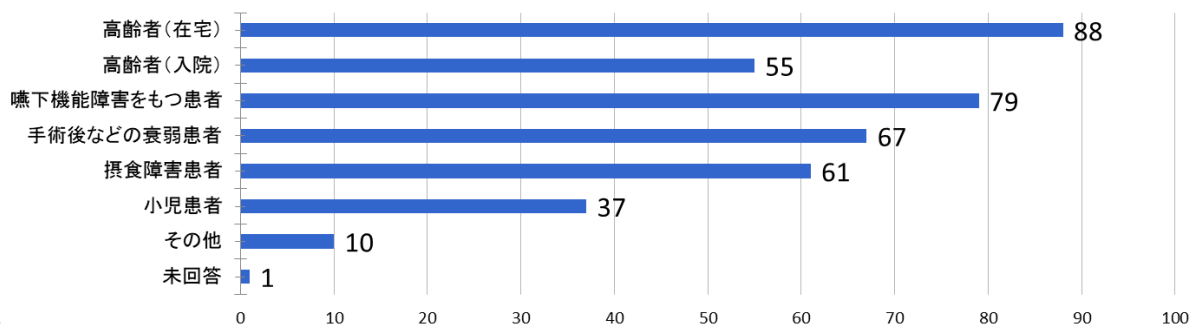
Q3. 紹介されていた製品に関して、介護および治療の現場で実際に使
用したいと感じましたか。

単位%



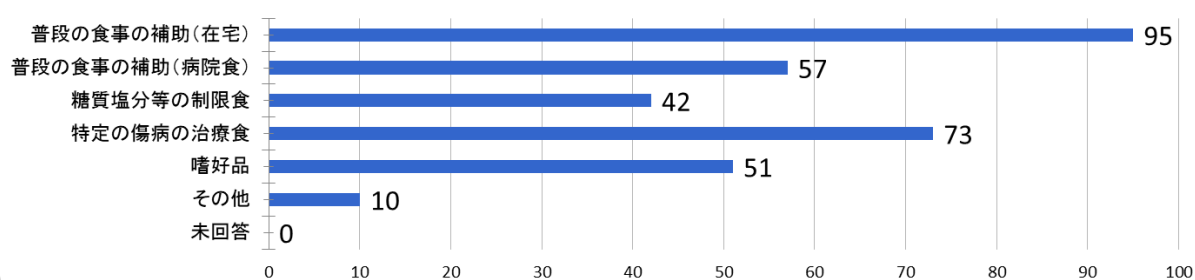
Q4. 紹介されていた製品に関して、どのような患者にとって有用だと考
えますか。(○はいくつでも)

単位(人)

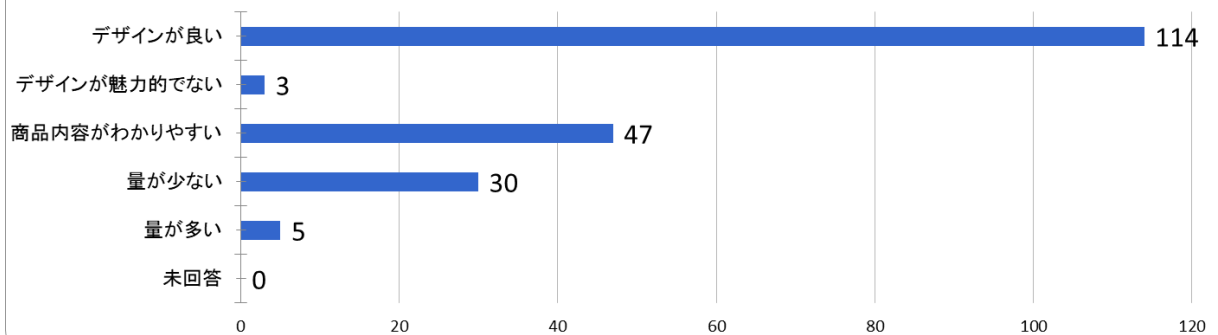


Q5. 紹介されていた製品に関して、どのような使用法が有効だと考え
ますか。(○はいくつでも)

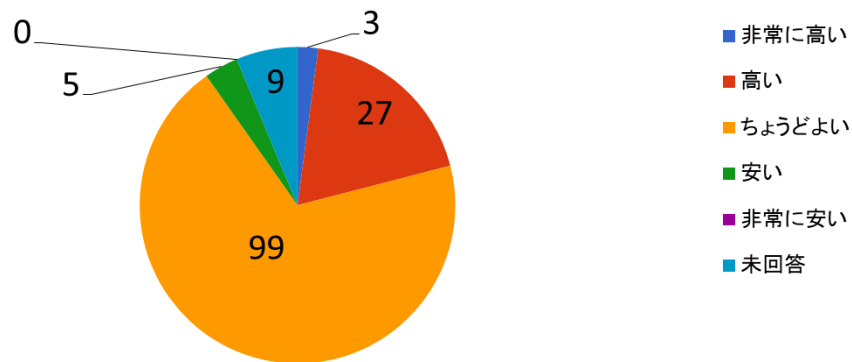
単位(人)



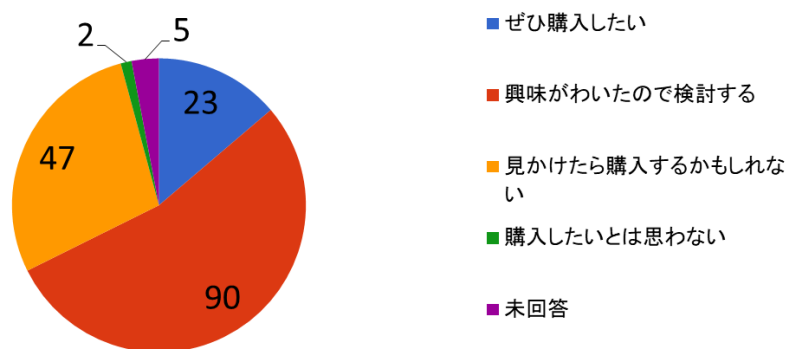
Q6. 紹介されていた商品のパッケージ/容量についてどのように感じますか。(〇はいくつでも) 単位(人)



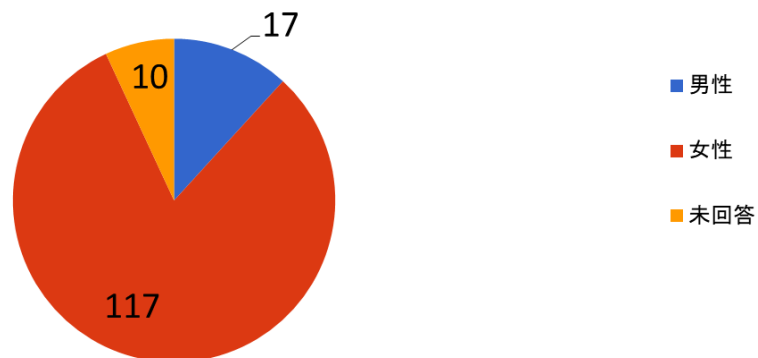
Q7. 紹介されていた商品の価格についてどのように感じますか。(〇はひとつ) 単位(%)



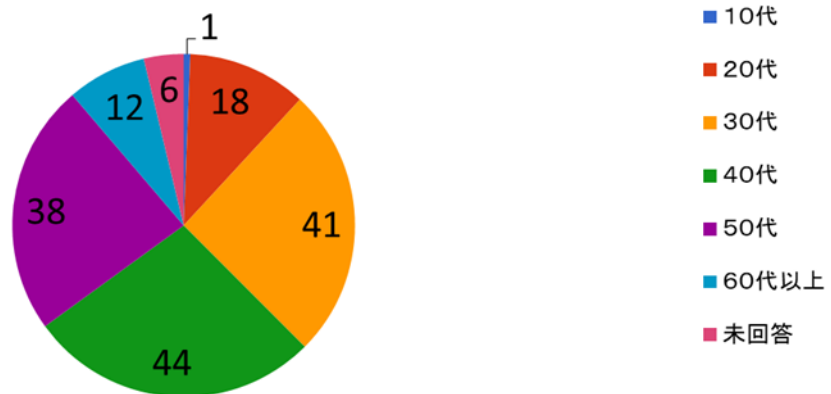
Q8. あなたは、紹介されていた商品を購入したいと思いますか。(〇はひとつ) 単位%



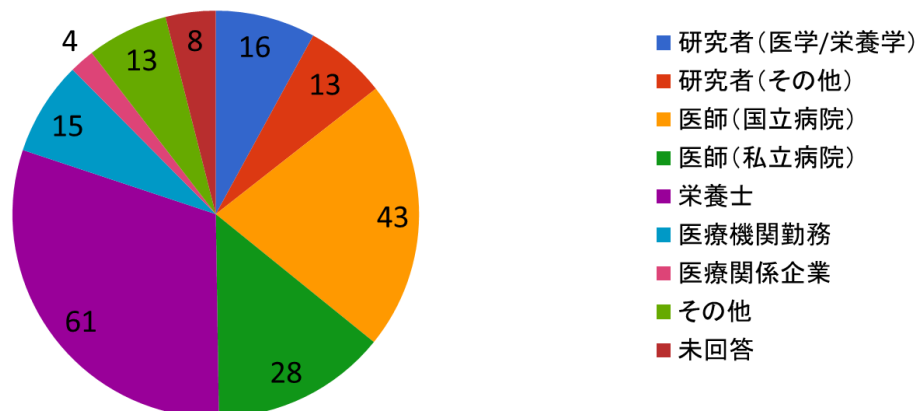
Q9. 回答者性別分布 単位(%)



Q10. 回答者年齢分布 単位(%)



Q11. 回答者職業分布 単位(%)



3)【ABC 薬局でのアンケート】調査結果

【日時】2019 年 3 月 8 日（金）3 月 15 日（金）

【イベント名称】ABC メディツナ（ABC 薬局）におけるアンケート調査

【場所】モスクワ市 ABC メディツィナ附属薬局

【概要】薬局顧客(60 名)に日本の介護食・機能性食品の紹介・試食、アンケート調査
および薬局関係者(3 名)にニーズを聞いた

【対象製品】A 社栄養補助食品、B 社栄養補助食品、C 社乳酸菌機能性食品、
D 社水分補給ドリンクゼリー、栄養補給ゼリー、とろみ材、ゼリー化材

①ABC 薬局：全製品の紹介後のアンケート

ABC 薬局	回答数	A 社栄養補助食品	B 社栄養補助食品	C 社乳酸菌機能性食品	D 社水分補給ドリンクゼリー	D 社栄養補給ゼリー	D 社とろみ材
Q1. 6つの栄養機能性食品のうち、どれを紹介されましたか？							
合計	60	12	12	6	16	12	2
Q2. あなたの性別は？							
女	37	10	6	1	10	8	2
男	23	2	6	5	6	4	0
合計	60	12	12	6	16	12	2
Q3. あなたの年代は？							
10-19 歳	0	0	0	0	0	0	0
20-29 歳	5	2	2	1	0	0	0
30-39 歳	12	3	2	1	3	3	0
40-49 歳	5	0	3	2	0	0	0
50-59 歳	26	4	3	1	9	8	1
60 歳以上	12	3	2	1	4	1	1
合計	60	12	12	6	16	12	2
Q4. 介護用機能性食品を使ったことがありますか？							
はい	15	5	7	0	2	1	0
いいえ	44	7	4	6	14	11	2
無回答	1	0	1	0	0	0	0
合計	60	12	12	6	16	12	2
Q5. 家族内に咀嚼、嚥下に問題のある人はいますか？							
はい	26	2	1	1	14	6	2
いいえ	30	9	9	4	2	6	0
無回答	4	1	2	1	0	0	0
合計	60	12	12	6	16	12	2

ABC 薬局	回答数	A 社栄養補助食品	B 社栄養補助食品	C 社乳酸菌機能性食品	D 社水分補給ドリンクゼリー	D 社栄養補給ゼリー	D 社とろみ材
Q6. (Q5 ではいと答えた人に対して) その人のために特別な料理を作っていますか？いるとしたらそれはどんな料理ですか？（自由回答）							
特になし/無回答	32	7	9	2	7	7	0
穀物のおかゆ	9	1	3	2	1	2	0
ピューレ	8	1	0	2	3	2	0
すりおろし野菜・果物	1	0	0	0	0	0	1
蒸し物	3	0	0	0	3	0	0
キセーリ	7	3	0	0	2	1	1
合計	60	12	12	6	16	12	2
Q7. ロシアに介護用機能性食品の需要はあると考えますか？							
はい	41	8	7	3	14	8	1
いいえ	5	1	2	2	0	0	0
無回答	14	3	3	1	2	4	1
合計	60	12	12	6	16	12	2
Q8. 各製品の容量はどのくらいがいいと思いますか？							
もっと多い方が良い	27	1	3	1	12	10	0
もっと少ない方が良い	19	8	6	5	0	0	0
ちょうど良い	14	3	3	0	4	2	2
その他・無回答	0	0	0	0	0	0	0
合計	60	12	12	6	16	12	2

ABC 薬局	高い	安い	合計
Q9. 各製品の価格は妥当だと考えますか？ *日本での小売価格の約 3 倍が、ロシアでの小売価格となる。			
A 社栄養補助食品 405 ルーブル	12	0	12
B 社栄養補助食品 360 ルーブル	11	1	12
C 社乳酸菌機能性食品 285 ルーブル	4	2	6
D 社水分補給ドリンクゼリー 150 ルーブル	11	5	16
D 社栄養補給ゼリー 240 ルーブル	3	9	12
D 社とろみ材 (3gx50) 1380 ルーブル	2	0	2
合計	43	17	60

ABC 薬局	回答数	A 社栄養 補助食品	B 社栄養 補助食品	C 社乳酸菌機能 性食品	D 社水分補給 ドリンクゼリー	D 社栄養補給 ゼリー	D 社とろみ材
Q10.どのような料理・味の機能性食品があったら買ってみたいと思いますか？（自由回答）							
肉料理	0	0	0	0	0	0	0
魚料理	0	0	0	0	0	0	0
野菜のみの料理	3	0	1	0	0	0	2
果実のみの料理	6	2	1	1	2	0	0
乳酸菌食品	3	0	0	3	0	0	0
日本料理	1	0	1	0	0	0	0
食塩不使用/減塩	5	2	1	0	0	2	0
砂糖不使用/減糖	11	5	5	0	0	1	0
化学調味料/保存 料無添加	7	2	0	2	3	0	0
無回答	24	1	3	0	11	9	0
合計	60	12	12	6	16	12	2
Q11.その他栄養機能性食品に関する意見・要望等（自由回答）							
美味しかった、気 に入った	9	3	4	1	1	0	0
価格を安くして ほしい	25	7	5	3	5	5	0
胃腸の疾患にも 対応してほしい	8	0	0	0	3	5	0
子供にも使える ものがほしい	4	2	1	0	1	0	0
特になし	14	0	2	2	6	2	2
合計	60	12	12	6	16	12	2

②ABC 薬局：薬局顧客の感想及び薬局側関係者のニーズ

- ・薬局顧客には主観的感想（抵抗の有無、嗜好的感想等）、
- ・薬局側関係者には ニーズ（販売希望の有無、有効的な使用法等の視点）を伺いました。

ABC 薬局	薬局顧客	薬局側関係者
A 社栄養補助食品	・ コーンスープ味が美味しい。 ・ ストローがついているのが便利。 ・ パッケージデザインがいい。	・ 患者の中で格別高齢者が多い訳では無いので、現在はそれほど関心が無い。 ・ 高齢者向けではない、美容目的など、他のマーケティングが考えられないか。 ・ 機能性食品（経管栄養食品）としての可能性がある。国家登録認証を取得して、神経科、精神科、老年学の分野で展開できるのではないかな。
B 社栄養補助食品	・ バニラ味が美味しい。 ・ 小さいパッケージが便利。移動中にも食べやすい。 ・ ドリンクとしては高価だが、一食分の食事の置き換えになると考えれば適切な値段。	・ 一般的な薬局に置くよりも、専門のコーナーを作ってそこにおいたほうが良いのではないかな。 ・ ダイエット商品として位置付けられないか。医師が商品について詳細を把握するため、ロシアで国家認証登録を取得して欲しい。 ・ コーヒー味とバニラ味は甘すぎて、人工的な味がする。ロシアの伝統的食材（ベリー、その他のフルーツ、野菜）のラインがあると良い。 ・ 機能性食品（経管栄養食品）としての可能性がある。国家登録認証を取得して、神経科、精神科、老年学の分野で展開できるのではないかな。
C 社乳酸菌機能性食品	・ 美味しいが、一本の容量が多く感じる。 ・ 毎日飲むのは難しい。	・ ダイエット食品として売り出す場合、実験成果の証明を示すと効果的ではないか。 ・ 0 カロリーという表記に違和感がある。正確な栄養成分表示が求められる。
D 社栄養補給ゼリー	・ 美味しい。機能性食品と意識せずに食べられる。 ・ お腹が弱っている時、食欲のない時でも食べやすい	・ 消化器疾患のある患者に提供が考えられるが、pH 値などの情報提供が必要。 ・ スポーツ及びスポーツ医療（神経学、精神学、外傷学）の分野において可能性がある。治療・ダイエット食品、スポーツ食品としての国家登録認証を目指してはどうか。
D 社水分補給ドリンクゼリー	・ 開けるときのどうしても中身が漏れる。もっと便利なパッケージにして欲しい。	・ ただの水分補給よりも、栄養補給など他の機能があつたほうが良い。 ・ スポーツ及びスポーツ医療（神経学、精神学、外傷学）の分野において可能性がある。治療・ダイエット食品、スポーツ食品としての国家登録認証を目指してはどうか。
D 社とろみ材	・ 普通の片栗粉と違いがわからない。 ・ 味が変わってしまう気がする。	・ 特殊な商品のため、薬局でいきなり売り出すのは難しいのではないかな。 ・ ロシア人にとって馴染みのない食感になるため、啓蒙が必要。

*D 社とろみ材はりんごジュースに混ぜて提供

4) 【病院におけるテスト導入アンケート】調査結果

I ロシア高齢者科学クリニックセンター（高齢者クリニック）

【対象商品】A 社栄養補助食品 4 種：コーンスープ・ストロベリー・ヨーグルト・白桃ヨーグルト味
D 社栄養補給ゼリー 3 種：オレンジ・青りんご・ピーチ味

手順： 患者選定、摂取前の状態を 「①栄養状態事前スクリーニング用アンケート」 に記録。
摂取終了後、患者の状態を 「②栄養状態アセスメント」 に記録。
患者の主観を 「③患者用アンケート」 に記録。
医師の主観を 「④医師用アンケート」 に記録。
患者の感想・医師のニーズを 「⑤患者の感想及び医師のニーズ」 にまとめる。

① 栄養状態事前スクリーニング用アンケート

①高クリ栄養状態事前スクリーニング用アンケート	回答数	A 社栄養補助食品	D 社栄養補給ゼリー
Q1. 患者の性別			
男性	2	2	0
女性	58	41	17
合計	60	43	17
Q2. 患者の年齢			
39 歳以下	1	1	0
40-49 歳	2	1	1
50-59 歳	3	0	3
60-69 歳	8	6	2
70-79 歳	28	25	3
80 歳以上	18	10	8
合計	60	43	17
Q3. 診断（複数回答）			
高血圧	27	16	11
脳血管障害	21	16	5
神経障害	4	4	0
心臓病	19	10	9
糖尿病	2	0	2
アルツハイマー病	6	6	0
消化器系疾患	3	2	1
嚥下障害	1	1	0
老人性虚弱	4	3	1
その他・無回答	3	3	0
合計	90	61	29

①高クリ栄養状態事前スクリーニング用アンケート	回答数	A 社栄養補助食品	D 社栄養補給ゼリー
04. 既往歴・食生活に関する特記事項（複数回答）			
高血圧	4	4	0
脳血管障害	2	2	0
神経障害	11	9	2
心臓病	1	1	0
消化器系疾患	7	4	3
胆石、胆嚢摘出	8	6	2
嚥下障害	4	3	1
平衡感覚障害	7	6	1
低栄養	7	6	1
食欲不振	3	1	2
偏食	17	11	6
肥満	3	2	1
その他・無回答	10	8	2
合計	84	63	21
Q5-a 因子 家族歴（肥満傾向、糖尿病、高血圧、心臓病、痛風）			
肥満傾向	0	0	0
糖尿病	3	2	1
高血圧	6	2	4
心臓病	1	1	0
痛風	0	0	0
特になし・無回答	50	38	12
合計	60	43	17
Q5-b 因子 生活歴（生活習慣、健康を害する恐れのある習慣、仕事内容、ストレス）			
障害者認定あり	11	7	4
飲酒	1	1	0
喫煙	5	5	0
立ち仕事	12	9	3
デスクワーク	1	1	0
ストレス	5	3	2
独居	15	8	7
家族、支援者と同居	32	24	8
特になし・無回答	8	8	0
合計	90	66	24

①高クリ栄養状態事前スクリーニング用アンケート	回答数	A 社栄養補助食品	D 社栄養補給ゼリー
Q6-1 身長			
～159cm	20	13	7
160～169cm	35	25	10
170～179cm	4	4	0
180～cm	1	1	0
合計	60	43	17
Q6-2 体重			
～59kg	20	15	5
60～79kg	30	22	8
80～99kg	8	4	4
100～kg	2	2	0
合計	60	43	17
Q6-3 血圧			
高血圧（最高血圧 140 以上）	31	21	10
通常（最高血圧 100～139）	29	22	7
低血圧（最高血圧 99 以下）	0	0	0
合計	60	43	17
Q7 過去 3 ヶ月間で食欲不振、消化器系の問題、そしゃく・嚥下困難などで食事量が減少しましたか？			
著しい食事量の減少	2	2	0
中等度の食事量の減少	20	13	7
食事量の減少なし	37	27	10
無回答	1	1	0
合計	60	43	17
Q8 過去 3 ヶ月間で体重の減少がありましたか？			
3 kg 以上の減少	4	4	0
わからない	18	14	4
1～3 kg の減少	9	7	2
体重減少なし	29	18	11
合計	60	43	17

①高クリ栄養状態事前スクリーニング用アンケート	回答数	A 社栄養補助食品	D 社栄養補給ゼリー
Q9 自力で歩けますか？			
寝たきりまたは車椅子を常時使用	2	1	1
ベッドや車椅子を離れられるが、歩いて外出はできない	15	12	3
自由に歩いて外出できる	42	29	13
無回答	1	1	0
合計	60	43	17
Q10 過去 3 ヶ月間で精神的ストレスや急性疾患を経験しましたか？			
はい	11	8	3
いいえ	49	35	14
合計	77	43	34
Q11 神経・精神的問題について			
強度認知症またはうつ状態	10	8	2
中程度の認知症	19	15	4
精神的問題なし	31	20	11
合計	60	43	17
Q12 BMI (体重 (kg) ÷ [身長 (m)]²)			
BMI が 19 未満	4	3	1
BMI が 19 以上、21 未満	5	5	0
BMI が 21 以上、23 未満	8	6	2
BMI が 23 以上	43	29	14
合計	60	43	17
Q13 食事の状況			
介護なしでは食事不可能	2	2	0
多少困難ではあるが自力で食事可能	15	12	3
問題なく自力で食事可能	43	29	14
合計	60	43	17
Q14 低栄養状態指標スコア			
栄養状態良好	40	28	12
低栄養のおそれあり (At risk)	15	12	3
低栄養	5	3	2
その他・無回答	0	0	0
合計	60	43	17

② 高齢者クリニック 栄養状態アセスメント

② 高齢者クリニック 栄養状態アセスメント	回答数	A 社栄養補助食品	D 社栄養補給ゼリー
Q1.調査期間内での変化			
改善	56	39	17
悪化	0	0	0
変化なし	4	4	0
その他・無回答	0	0	0
合計	60	43	17
Q2.対象商品の利用によって得られた効果			
効果あり	35	25	10
効果なし	24	18	6
その他・無回答	1	0	1
合計	60	43	17
Q3.効果があった場合の内容（複数回答）			
気分の改善	17	13	4
食欲の増加	17	11	6
体重の増加	2	1	1
誤嚥リスクの増加	3	1	2
その他・無回答	28	22	6
合計	67	48	19
Q4.今後、患者に対して対象商品を推奨する意思			
あり	32	22	10
なし	27	21	6
その他・無回答	1	0	1
合計	60	43	17
Q5.その理由（複数回答）			
価格	26	19	7
効能	30	21	9
味	17	13	4
パッケージ	0	0	0
合計	73	53	20

② 高齢者クリニック 栄養状態アセスメント	回答数	A 社栄養補助食品	D 社栄養補給ゼリー
Q6.上記に当てはまらない場合（複数回答）			
低栄養状態に適応	43	34	9
うつなど精神的症状の改善	21	14	7
嚥下障害・麻痺への適応	11	9	2
疲労感の減少	5	5	0
その他・無回答	11	8	3
合計	91	70	21
Q7.紹介された製品に関して、どのような使用法が有効だと考えますか（複数回答可）			
普段の食事の補助として（在宅）	55	39	16
普段の食事の補助として（病院食）	51	39	12
糖質/塩分等の制限食として	7	3	4
特定の傷病の治療食として	8	3	5
嗜好品として	19	15	4
その他・未回答	0	0	0
合計	140	99	41
Q8.体重の変化			
3kg 以上の増加	1	0	1
3kg 未満の増加	22	17	5
変化なし	30	19	11
3kg 未満の減少	6	6	0
3kg 以上の減少	1	1	0
その他・無回答	0	0	0
合計	60	43	17
Q9.消化管症状（摂取期間にわたって継続しているもの）			
なし	48	33	15
嘔気	7	6	1
嘔吐	0	0	0
下痢	3	2	1
食欲不振	2	2	0
その他・無回答	2	2	0
合計	62	45	17

② 高齢者クリニック 栄養状態アセスメント	回答数	A 社栄養補助食品	D 社栄養補給ゼリー
Q10.-a 理学的所見 踝部の浮腫			
正常	45	30	15
軽度	10	8	2
中程度	4	4	0
高度	0	0	0
その他・無回答	1	1	0
合計	60	43	17
Q10.-b 理学的所見 仙骨部の浮腫			
正常	59	42	17
軽度	1	1	0
中程度	0	0	0
高度	0	0	0
合計	60	43	17
Q10.-c 腹水			
正常	60	43	17
軽度	0	0	0
中程度	0	0	0
高度	0	0	0
合計	60	43	17
Q11. 低栄養状態指標スコア			
栄養状態良好	43	31	12
低栄養のおそれあり (At risk)	14	10	4
低栄養	3	2	1
合計	60	43	17
Q12. 血圧			
高血圧 (最高血圧 140～)	16	14	2
正常 (最高血圧 100～139)	40	26	14
低血圧 (最高血圧～99)	0	0	0
その他・無回答	4	3	1
合計	60	43	17
Q13. 対象商品の摂取により関連する患者の状態の医師による所見 (自由記述)			
価格が高い	1	1	0
その他・無回答	59	42	17
合計	60	43	17

③高齢者クリニック 患者用アンケート

③高齢者クリニック 患者用アンケート	回答数	A 社栄養補助食品	D 社栄養補給ゼリー
Q1. あなたの性別は？			
男性	2	2	0
女性	58	41	17
合計	60	43	17
Q2. あなたの年齢は？			
39 歳以下	1	1	0
40-49 歳	2	1	1
50-59 歳	3	0	3
60-69 歳	8	6	2
70-79 歳	28	25	3
80 歳以上	18	10	8
無回答	0	0	0
合計	60	43	17
Q3. 自身の食生活についてどう思いますか？ひとつお選びください。			
栄養が不足している	5	5	0
栄養が過剰である	3	3	0
わからない	10	3	7
問題ない	21	17	4
その他・無回答	21	15	6
合計	60	43	17
Q4. 対象商品と類似の商品を実際に使ったことがありますか？あれば名称を教えてください。			
はい	3	2	1
いいえ	47	31	16
その他・無回答	10	10	0
合計	60	43	17

※名称に対する回答はなかった。

Q5. 最も気に入った味は何ですか？

A 社栄養補助食品	回答数
コーンスープ	7
ストロベリー	17
ヨーグルト	1
白桃ヨーグルト	2
どれも気に入らなかった	12
その他・無回答	4
合計	43

D 社栄養補給ゼリー	回答数
オレンジ	5
ピーチ	1
青りんご	10
どれも気に入らなかった	0
その他・無回答	3
合計	19

※この設問は複数回答ではないので、
D 社栄養補給ゼリーの有効回答数は 17 のはず
ですが、3 種類すべての味にチェックを付けた
患者がいたため、2 回答多くなり、回答数合計
が 19 となりました。

③高齢者クリニック 患者用アンケート	回答数	A 社栄養補助食品	D 社栄養補給ゼリー
Q6. 紹介した製品についてどのように感じますか？			
Q6-1 デザインについての良し悪しは？			
良い	36	25	11
普通	7	4	3
悪い	3	2	1
その他・無回答	14	12	2
合計	60	43	17
Q6-2. 製品の特徴はわかりやすいですか？			
わかりやすい	7	4	3
普通	14	9	5
分かりにくい	8	4	4
その他・無回答	31	26	5
合計	60	43	17

③高齢者クリニック 患者用アンケート	回答数	A 社栄養補助食品	D 社栄養補給ゼリー
Q6-3. 各製品の容量はどう感じますか？			
多い	2	0	2
ちょうど良い	30	20	10
少ない	8	5	3
その他・無回答	20	18	2
合計	60	43	17
Q6-4. 各製品の価格は妥当でしょうか？ (A 社栄養補助食品 405 ルーブル D 社栄養補給ゼリー 240 ルーブル) *日本での小売価格の約3倍が、ロシアでの小売価格となる。			
非常に高い	47	36	11
高い	7	3	4
ちょうど良い	2	1	1
安い	0	0	0
非常に安い	0	0	0
その他・無回答	4	3	1
合計	60	43	17
Q6-5. 気に入った点を選んでください。(複数回答)			
味	31	21	10
香り	9	3	6
色	7	4	3
デザイン	4	3	1
気に入った点なし	5	1	0
その他・無回答	24	14	4
合計	80	46	24
Q7-1. 今後日常的に対象製品を購入、利用したいと思いますか？			
はい	29	19	10
いいえ	28	22	6
無回答	3	2	1
合計	60	43	17

③高齢者クリニック 患者用アンケート	回答数	A 社栄養補助食品	D 社栄養補給ゼリー
Q7-2. その理由を教えてください。			
味がいい	0	0	0
効能がいい	0	0	0
デザインがいい	1	1	0
味が悪い	3	3	0
値段が高い	6	4	2
簡単に食べられる	1	0	1
その他・無回答	49	35	14
合計	60	43	17
Q8. この製品について、感じたことをお聞かせください。（複数回答）			
味がいい	12	7	5
香りがいい	0	0	0
デザインがいい	5	5	0
味が悪い	11	9	2
デザインが悪い	0	0	0
機能的である	2	0	2
値段を下げた方がよい（高い）	24	17	7
その他・無回答	17	11	6
合計	71	49	22

④高齢者クリニック 医師用アンケート

④高齢者クリニック 医師用アンケート	回答数	A 社栄養補助食品	D 社栄養補給ゼリー
Q1.あなたの役職は？ ※兼任は（ ）で示し、数に含まない			
栄養士	2	1	1
医師	4	3（1）	1（2）
老年学医	1	0	1
合計	7	4	3
Q2. あなたの専門科は？			
栄養学	2	1	1
老年学	3	2	0
神経科	2	1	2
その他・無回答	0	0	0
合計	7	4	3
Q3. 対象製品と類似の製品を実際に使ったことがありますか？(あれば名称と用途)			
・ B.Brown 社 Nutricomp (A 社栄養補助食品の類似品)	1	1	0
・ Nestle 社 Peptamen (D 社栄養補給ゼリーの類似品)	1	0	1
2 ない	5	3	2
合計	7	4	3
Q4.対象製品についてどのように感じますか？			
Q4-1.デザインについての良し悪しは？			
1 良い	6	4	2
2 普通	1	0	1
3 悪い	0	0	0
合計	7	4	3
Q4-2. 製品の特徴はわかりやすいですか？			
1 わかりやすい	6	4	2
2 普通	1	0	1
3 分かりにくい	0	0	0
合計	7	4	3

④高齢者クリニック 医師用アンケート	回答数	A 社栄養補助食品	D 社栄養補給ゼリー
Q4-3. 各製品の容量はどう感じますか？			
1 多い	0	0	0
2 ちょうど良い	7	4	3
3 少ない	0	0	0
合計	7	4	3
Q4-4. 各製品の価格は妥当でしょうか？ (A 社栄養補助食品 405 ルーブル D 社栄養補給ゼリー 240 ルーブル) *日本での小売価格の約3倍が、ロシアでの小売価格となる。			
1 非常に高い	2	2	0
2 高い	5	2	3
3 ちょうど良い	0	0	0
4 安い	0	0	0
5 非常に安い	0	0	0
合計	7	4	3
Q7. この製品の摂取を推奨したいと思うのはどのような方ですか？（複数回答）			
栄養不良の方、またそのリスクのある方（MN A®判定）	7	4	3
食欲や食事量が低下している方	7	4	3
栄養バランスが取れていない方	6	3	3
たんぱく質が不足している方	6	4	2
合計	26	15	11

⑤高齢者クリニック 患者の感想及び医師の感想・見解

- ・患者には主観的感想（抵抗の有無、嗜好的感想等）、
- ・医師には ニーズ（販売希望の有無、有効的な使用法等の視点）を伺いました。

製品名	患者（主観的感想）	医師（ニーズ）
A 社栄養補助食品	・美味しいが、すぐに満腹になってしまう。飲みきれないこともある。 ・コーンスープなど、料理系の味がもっとあるとよい。 ・全く知らない製品とメーカーなので、不安がある。	・栄養不足から褥瘡などを起こす患者もいるため、そういった患者に提供したい。 ・低栄養の患者だけでなく、減量用のダイエットメニューの栄養バランスを整える為にも使える。 ・使い捨てのストローがついているのが便利。 ・高齢の患者にとって、日本産の未知の製品は抵抗がある場合もある。パンフレットなど、ロシア語での情報展開が必要。
D 社栄養補給ゼリー	・美味しいが、なんの味なのかわかりにくい。もう少し果物の味がちゃんとついていて欲しい。 ・ツルツルして食べやすい。 ・スプーンを見つけなければならぬのが面倒。	・食べた後、患者の気分が良くなる、また食欲が回復することがあった。アルツハイマー患者のケアに有効。 ・患者にたくさん食べてもらうためには、メニューの多様性や食の楽しみの確保が重要で、この製品はその点で有効である。 ・（D 社水分補給ドリンクゼリーにも関連して）栄養が強化されている製品の方がよい。 ・手の震えがある患者もあり、時に食べることが難しい。

II 連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）附属病院

【対象商品】B社栄養補助食品（栄養補助食品）（バニラ・バナナ・いちごミルク・コーヒー味）

C社乳酸菌機能性食品（機能性表示食品） D社水分補給ドリンクゼリー

D社とろみ材・D社ゼリー化材（嚥下食品）

手順：テスト導入前に様子を見るため、第1回目のテストは1日のみの摂取にとどめる。

患者の摂取前の状況を「①第1回目 栄養状態事前スクリーニング用アンケート」に記録。

患者の摂取後の感想を「②第1回目 患者用アンケート」に記録。

第2回目のテストは長期間摂取である。事前に患者の状態を「③第2回目栄養状態事前スクリーニング用アンケート」記録。摂取後の状態を「④栄養状態アセスメント」に記録。

患者の摂取後の感想を「⑤患者用アンケート」に記録、医師の主観を「⑥医師用アンケート」にそれぞれ記録した。

①栄養研究所 第1回目 栄養状態事前スクリーニング用アンケート

①栄養第1回目 スクリーニング	回答 数	B 社栄養補助食品				C 社乳酸菌 機能性食品	D 社水分補給 ドリンクゼリ ー	D 社 とろみ材	D 社 ゼリー化 材
		バニラ	バナナ	いちご ミルク	コーヒ ー				
Q1. 患者の性別									
男性	20	0	4	1	4	0	5	3	3
女性	58	10	6	9	7	10	6	5	5
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8
Q2. 患者の年齢									
10-19 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20-29 歳	8	1	2	0	0	1	0	2	2
30-39 歳	9	0	4	0	1	0	0	2	2
40-49 歳	7	2	1	0	0	2	0	1	1
50-59 歳	23	4	2	2	2	2	5	3	3
60 歳以上	30	3	1	8	8	5	6	0	0
未回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8
Q3. 診断（※既往症・食生活に関する特記事項・因子（家族歴・生活歴）を含む）（複数回答）									
高血圧	8	5	0	0	0	1	0	1	1
高血圧、両側性膝 関節症	3	2	0	0	0	1	0	0	0
肝臓の脂肪変性	7	5	0	0	0	0	0	1	1
（鬱血性）心不全 を伴う主な心疾 患を伴う高血圧 疾患	4	0	0	0	0	4	0	0	0

①栄研第 1 回目 スクリーニング	回答 数	B 社栄養補助食品				C 社乳酸菌 機能性食品	D 社水分補給 ドリンクゼリ ー	D 社とろ み材	D 社ゼリ ー化材
		パニラ	バナナ	いちごミ ルク	コーヒ ー				
Q3 診断（続き）（複数回答）									
過敏性腸症候群	7	0	3	0	0	0	0	2	2
非アルコール性 脂肪肝疾患	2	0	2	0	0	0	0	0	0
慢性ウイルス性 B 型肝炎	3	0	1	0	0	0	0	1	1
肝硬変	1	0	1	0	0	0	0	0	0
慢性膵炎	3	0	1	0	0	0	0	1	1
慢性心不全を伴 う高血圧	5	0	0	4	1	0	0	0	0
虚血性心疾患：ス トレス狭心症	2	0	0	2	0	0	0	0	0
慢性心不全を伴 う動脈性高血圧	3	0	0	2	1	0	0	0	0
慢性心不全のな い高血圧	5	0	0	1	4	0	0	0	0
慢性心不全	6	0	0	1	5	0	0	0	0
2 型糖尿病	5	0	0	0	0	0	5	0	0
合併症のないイン スリン非依存 型糖尿病	5	0	0	0	0	5	0	0	0
肥満	4	0	0	0	0	1	3	0	0
耐糖能異常	2	0	0	0	0	0	2	0	0
ピロリ菌感染に よる慢性胃炎	1	0	1	0	0	0	0	0	0
未記入・未回答	6	0	1	2	3	0	1	2	2
合計	86	12	10	12	14	12	11	11	8
Q4. 身長									
～159cm	15	4	0	2	3	5	1	0	0
160～169cm	42	6	5	7	4	5	5	5	5
170～179cm	18	0	4	1	4	0	3	3	3
180～cm	3	0	1	0	0	0	2	0	0
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8

①栄研第 1 回目 スクリーニング	回答 数	B 社栄養補助食品				C 社乳酸菌 機能性食品	D 社水分補 給ドリンク ゼリー	D 社とろ み材	D 社ゼリ ー化材
		バニラ	バナナ	いちごミ ルク	コーヒー				
Q5. 体重									
～59kg	9	0	3	0	2	0	0	2	2
60～79kg	15	1	3	0	1	2	0	4	4
80～99kg	12	2	1	3	2	2	2	0	0
100～kg	42	7	3	7	6	6	9	2	2
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8
Q6. 血圧									
高血圧（最高血圧 140 以上）	21	3	0	7	7	2	3	1	1
通常（最高血圧 100～139）	42	6	9	3	4	8	8	6	6
低血圧（最高血圧 99 以下）	12	1	0	0	0	0	0	0	0
未記入	3	0	1	0	0	0	0	1	1
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8
Q7. 過去 3 ヶ月間で食欲不振、消化器系の問題、そしゃく・嚥下困難などで食事が減少しましたか？									
著しい食事量の 減少	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中等度の食事量 の減少	10	0	4	0	0	0	0	3	3
食事量の減少な し	68	10	6	10	11	10	11	5	5
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8
Q8. 過去 3 ヶ月間で体重の減少がありましたか？									
3 kg 以上の減少	8	0	2	0	0	2	0	2	2
わからない	5	0	0	5	0	0	0	0	0
1～3 kg の減少	14	1	3	4	0	0	0	3	3
体重減少なし	51	9	5	1	11	8	11	3	3
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8

①栄研第1回目 スクリーニング	回答 数	B 社栄養補助食品				C 社乳酸菌 機能性食品	D 社水分補 給ドリンク ゼリー	D 社とろ み材	D 社ゼリ ー化材
		バニラ	バナナ	いちごミ ルク	コーヒー				
Q9. 自力で歩けますか？									
寝たきり又は車 椅子を常時使用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベッドや車椅子 を離れられるが、 歩いて外出不可	1	0	0	0	1	0	0	0	0
自由に歩いて外 出できる	77	10	10	10	10	10	11	8	8
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8
Q10 過去3カ月間で精神的ストレスや急性疾患を経験しましたか？									
はい	3	0	1	0	0	0	0	1	1
いいえ	75	10	9	10	11	10	11	7	7
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8
Q11. 神経・精神的問題について									
強度認知症また はうつ状態	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中程度の認知症	5	0	0	2	3	0	0	0	0
精神的問題なし	73	10	10	8	8	10	11	8	8
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8
Q12. BMI (体重(kg) ÷ [身長(m)] ²)									
BMI 19 未満	3	0	1	0	0	0	0	1	1
BMI 19 以上、 21 未満	5	0	1	0	0	0	0	2	2
BMI 21 以上、 23 未満	7	0	2	0	1	0	0	2	2
BMI 23 以上	63	10	6	10	10	10	11	3	3
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8

①栄研第 1 回目 スクリーニング	回答 数	B 社栄養補助食品				C 社乳酸菌 機能性食品	D 社水分補 給ドリンク ゼリー	D 社とろ み材	D 社ゼリ ー化材
		バニラ	バナナ	いちごミ ルク	コーヒー				
Q13.食事の状況									
介護なしでは食 事不可能	1	0	0	1	0	0	0	0	0
多少困難ではあ るが自力で食事 可能	0	0	0	0	0	0	0	0	0
問題なく自力で 食事可能	77	10	10	9	11	10	11	8	8
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8
Q14.低栄養状態指標スコア									
栄養状態良好	71	10	9	10	11	10	9	6	6
低栄養のおそれあ り (At risk)	3	0	1	0	0	0	0	1	1
低栄養	3	0	0	0	0	0	1	1	1
その他・無回答	1	0	0	0	0	0	1	0	0
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8

②栄養研究所 第1回目患者アンケート調査結果

②栄研第1回目 患者アンケート	回答 数	B 社栄養補助食品				C 社乳酸菌 機能性食品	D 社水分補給 ドリンクゼリ ー	D 社とろ み材	D 社ゼリ ー化材
		パニラ	バナナ	いちごミ ルク	コーヒ ー				
Q1.性別									
男性	21	0	4	1	4	0	5	4	3
女性	57	10	6	9	7	10	6	4	5
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8
Q2. 年齢									
10-19 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20-29 歳	5	0	0	0	0	0	0	3	2
30-39 歳	10	0	2	0	1	1	0	3	3
40-49 歳	5	2	0	0	0	2	0	0	1
50-59 歳	23	5	1	4	2	2	5	2	2
60 歳以上	28	3	1	6	8	5	5	0	0
未回答	11	0	6	0	0	0	1	0	1
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8
Q3. 自身の食生活についてどう思いますか。ひとつお選びください。									
栄養が不足して いる	6	0	1	3	0	0	0	1	1
栄養が過剰であ る	38	4	4	4	4	6	8	5	3
わからない	8	2	1	0	3	1	1	0	0
問題ない	26	4	4	3	4	3	2	2	4
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8
Q4. 対象製品と類似の製品を実際に使ったことがありますか。あれば名称を教えてください。									
はい	14	3	4	3	1	2	0	1	0
いいえ	63	6	6	7	10	8	11	7	8
その他・無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8
Q5. 対象の製品についてどのように感じますか。デザインについて									
良い	33	2	7	4	4	3	3	6	4
普通	39	8	2	4	7	7	6	2	3
悪い	5	0	1	2	0	0	2	0	0
その他・無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8

②栄研第 1 回目 患者アンケート	回答 数	B 社栄養補助食品				C 社乳酸菌 機能性食品	D 社水分補 給ドリンク ゼリー	D 社とろ み材	D 社ゼリー 化材
		バニラ	パナナ	いちごミ ルク	コーヒー				
Q6. 製品の特徴について									
1 わかりやすい	31	3	7	3	4	6	4	2	2
2 普通	36	6	3	3	5	4	6	4	5
3 分かりにくい	11	1	0	4	2	0	1	2	1
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8
Q7. 各製品の容量は妥当でしょうか。									
1 多い	6	2	0	1	0	1	1	1	0
2 ちょうど良い	55	6	7	6	8	6	9	6	7
3 少ない	17	2	3	3	3	3	1	1	1
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8
Q8. 各製品の価格は妥当でしょうか。 (B 社栄養補助食品 360 ルーブル、C 社乳酸菌機能性食品 285 ルーブル、D 社水分補給ドリンクゼリー 150 ルーブル、D 社とろみ材 【1 個×3g】 28 ルーブル、D 社ゼリー化材 【1 個×1.5g】 33 ルーブル)									
1 非常に高い	38	8	8	2	6	5	8	1	0
2 高い	18	2	1	6	4	4	1	0	0
3 ちょうど良い	21	0	1	2	1	1	1	7	8
4 安い	1	0	0	0	0	0	1	0	0
5 非常に安い	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8
Q9. 気に入った点があれば 1 つ選んで下さい。									
1 味	43	5	6	7	4	9	11	1	0
2 香り	16	0	2	5	5	1	0	2	1
3 色	9	0	2	4	1	0	0	0	2
4 デザイン	14	1	2	3	4	0	0	2	2
その他・無回答	10	4	0	0	0	0	0	3	3
合計	92	10	12	19	14	10	11	8	8
Q10 今後日常的に対象製品を購入、利用したいと思いますか？									
1 はい	38	5	4	8	4	7	6	2	2
2 いいえ	40	5	6	2	7	3	5	6	6
合計	78	10	10	10	11	10	11	8	8

②栄研第1回目 患者アンケート	回答 数	B 社栄養補助食品				C 社乳酸菌 機能性食品	D 社水分補給ド リンクゼリー	D 社とろ み材	D 社ゼリ ー化材
		パニラ	バナナ	いちご ミルク	コーヒ ー				
Q11 その理由を教えてください。									
味がいい	18	3	1	4	2	4	2	1	1
効能がいい	9	1	1	0	1	3	2	1	0
デザインがいい	3	0	1	0	0	2	0	0	0
味が悪い	27	5	3	0	3	3	4	5	4
値段が高い	9	0	3	0	3	1	3	1	0
その他・無回答	17	1	1	6	3	0	0	0	4
合計	83	10	10	10	12	13	11	8	9
Q11. この製品について、感じたことをお聞かせください。									
味がいい	20	3	5	2	3	7	0	0	0
香りがいい	3	0	0	0	0	3	0	0	0
デザインがいい	7	1	0	0	3	3	0	0	0
味が悪い	8	4	3	0	1	0	0	0	0
デザインが悪い	4	0	1	0	1	2	0	0	0
値段が高い	2	0	1	0	1	0	0	0	0
必要性がない	0	0	2	0	0	0	0	0	0
その他・無回答	44	2	3	9	1	4	11	8	8
合計	88	10	12	11	9	19	11	8	8

③栄養研究所 第2回目 栄養状態事前スクリーニング

③栄研第2回目スクリーニング	回答数	B 社栄養補助食品	C 社乳酸菌機能性食品	D 社水分補給ドリンクゼリー	D 社とろみ材	D 社ゼリー化材
Q1. 患者の性別						
男性	18	5	9	2	2	0
女性	67	22	14	9	12	10
合計	85	27	23	11	14	10
Q2. 患者の年齢						
10-19 歳	1	1	0	0	0	0
20-29 歳	11	7	4	0	0	0
30-39 歳	9	0	4	0	2	3
40-49 歳	19	6	7	2	3	1
50-59 歳	19	8	4	3	2	2
60 歳以上	26	5	4	6	7	4
合計	85	27	23	11	14	10
Q3 診断（複数回答）						
高血圧	11	8	3	0	0	0
高血圧、両側性膝関節症	0	0	0	0	0	0
肝臓の脂肪変性	24	8	16	0	0	0
（鬱血性）心不全を伴う主な心疾患を伴う高血圧疾患	0	0	0	0	0	0
過敏性腸症候群	0	0	0	0	0	0
非アルコール性脂肪肝疾患	0	0	0	0	0	0
慢性ウイルス性 B 型肝炎	0	0	0	0	0	0
肝硬変	0	0	0	0	0	0
慢性膵炎	0	0	0	0	0	0
慢性心不全を伴う高血圧	0	0	0	0	0	0
虚血性心疾患	1	1	0	0	0	0
慢性心不全を伴う動脈性高血圧	0	0	0	0	0	0
慢性心不全のない高血圧	0	0	0	0	0	0
慢性心不全	3	3	0	0	0	0
2 型糖尿病	1	1	0	6	0	0
合併症のないインスリン非依存型糖尿病	0	0	0	0	0	0
肥満	6	1	2	3	0	0
耐糖能異常	0	0	0	0	0	0
リウマチ	1	1	0	0	0	0
気管支喘息	2	2	0	0	0	0

③栄研第2回目スクリーニング	回答数	B 社栄養補助食品	C 社乳酸菌機能性食品	D 社水分補給ドリンクゼリー	D 社とろみ材	D 社ゼリー化材
Q3 診断（続き）						
慢性胃炎	2	2	0	0	0	0
未記入・未回答	29	1	2	2	14	10
合計	86	28	23	11	14	10
Q4. 身長						
～159cm	16	8	2	1	4	1
160～169cm	45	12	9	9	7	8
170～179cm	17	5	8	1	2	1
180～cm	7	2	4	0	1	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q5. 体重						
～59kg	11	7	0	1	3	0
60～79kg	8	4	1	0	2	1
80～99kg	27	5	8	3	5	6
100kg～	39	11	14	7	4	3
合計	85	27	23	11	14	10
Q6. 血圧						
高血圧（最高血圧 140 以上）	30	12	10	1	3	4
通常（最高血圧 100～140）	54	14	13	10	11	6
低血圧（最高血圧 100 以下）	1	1	0	0	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q7. 過去 3 ヶ月間で食欲不振、消化器系の問題、そしゃく・嚥下困難などで食事量が減少しましたか？						
著しい食事量の減少	0	0	0	0	0	0
中等度の食事量の減少	5	2	1	1	1	0
食事量の減少なし	78	25	22	8	13	10
無回答	2	0	0	2	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q8. 過去 3 ヶ月間で体重の減少がありましたか？						
3 kg 以上の減少	12	5	5	0	2	0
わからない・無回答	7	2	1	3	1	0
1～3 kg の減少	11	6	1	2	2	0
体重減少なし	55	14	16	6	9	10
合計	85	27	23	11	14	10

③栄研第2回目スクリーニング	回答数	B 社栄養補助食品	C 社乳酸菌機能性食品	D 社水分補給ドリンクゼリー	D 社とろみ材	D 社ゼリー化材
Q9. 自力で歩けますか？						
寝たきり又は車椅子を常時使用	0	0	0	0	0	0
ベッドや車椅子を離れられるが、歩いて外出不可	3	2	1	0	0	0
自由に歩いて外出可能	78	25	22	7	14	10
その他・無回答	4	0	0	4	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q10. 過去 3 ヶ月間で精神的ストレスや急性疾患を経験しましたか？						
はい	6	3	0	1	1	1
いいえ	76	23	23	8	13	9
その他・無回答	3	1	0	2	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q11. 神経・精神的問題について						
強度認知症またはうつ状態	0	0	0	0	0	0
中程度の認知症	1	1	0	0	0	0
精神的問題なし	80	26	22	9	13	10
その他・無回答	4	0	1	2	1	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q12. BMI						
BMI が 19 未満	3	2	0	0	1	0
BMI が 19 以上、21 未満	3	2	0	0	1	0
BMI が 21 以上、23 未満	5	2	0	2	1	0
BMI が 23 以上	74	21	23	9	11	10
合計	85	27	23	11	14	10
Q13.食事の状況						
介護なしでは食事不可能	2	2	0	0	0	0
多少困難ではあるが自力で食事可能	0	0	0	0	0	0
問題なく自力で食事可能	75	25	22	8	13	7
その他・無回答	8	0	1	3	1	3
合計	85	27	23	11	14	10

③栄研第2回目スクリーニング	回答数	B 社栄養補助食品	C 社乳酸菌機能性食品	D 社水分補給ドリンクゼリー	D 社とろみ材	D 社ゼリー化材
Q14.低栄養状態指標スコア						
栄養状態良好	74	24	22	7	11	10
低栄養のおそれあり (At risk)	3	1	0	1	1	0
低栄養	3	2	0	0	1	0
その他・無回答	5	0	1	3	1	0
合計	85	27	23	11	14	10

④栄養研究所 第2回目 栄養状態アセスメント

④栄養第2回目アセスメント	回答数	B 社栄養補助食品	C 社乳酸菌機能性食品	D 社水分補給ドリンクゼリー	D 社とろみ材	D 社ゼリー化材
Q1. 体重						
～59kg	10	6	0	1	3	0
60～79kg	9	4	1	0	2	2
80～99kg	29	6	9	3	5	6
100～kg	36	11	12	7	4	2
未記入	1	0	1	0	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q2. 血圧						
高血圧（最高血圧 140 以上）	6	2	2	0	1	1
通常（最高血圧 100～139）	76	24	20	11	12	9
低血圧（最高血圧 99 以下）	2	1	0	0	1	0
未記入	1	0	1	0	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q3. 栄養状態アセスメント						
栄養状態良好	79	24	23	10	12	10
低栄養のおそれあり（At risk）	4	1	0	1	2	0
低栄養	2	2	0	0	0	0
その他・無回答	0	0	0	0	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q4. 入院期間中（調査期間中）の患者の消化器症状について						
特に問題なし	83	27	23	9	14	10
嘔気	0	0	0	0	0	0
嘔吐	0	0	0	0	0	0
下痢	2	0	0	2	0	0
食欲不振	0	0	0	0	0	0
その他・無回答	0	0	0	0	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q5. 皮下脂肪は減少しましたか？（三頭筋、胸部）						
特に問題なし	29	13	4	6	5	1
わずかに減少	28	7	5	5	5	6
減少	25	7	12	0	3	3
その他・無回答	3	0	2	0	1	0
合計	85	27	23	11	14	10

④栄研第2回目アセスメント	回答数	B 社栄養補助食品	C 社乳酸菌機能性食品	D 社水分補給ドリンクゼリー	D 社とろみ材	D 社ゼリー化材
Q6-1. 理学的初見 上腕周囲長						
30cm 未満	24	12	4	1	7	0
30cm 以上 50cm 未満	58	13	19	9	7	10
50cm 以上	3	2	0	1	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q6-2. 理学的初見 腹囲（ウエスト）						
90cm 未満	19	11	1	1	5	1
90cm 以上 130cm 未満	55	11	19	7	9	9
130cm 以上	11	5	3	3	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q6-3. 理学的初見 腰回（ヒップ）						
100cm 未満	16	8	1	3	4	0
100cm 以上 140cm 未満	67	17	22	8	10	10
140cm 以上	2	2	0	0	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q6-4. 理学的初見 大腿周囲長						
50cm 未満	29	11	8	0	10	0
50cm 以上 80cm 未満	54	14	15	11	4	10
80cm 以上	2	2	0	0	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q7. 理学的所見踝部の浮腫						
正常	76	25	19	11	12	9
軽度	5	2	2	0	0	1
中程度	0	0	0	0	0	0
高度	0	0	0	0	0	0
その他・無回答	4	0	2	0	2	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q8 理学的所見仙骨部の浮腫						
正常	85	27	23	11	14	10
軽度	0	0	0	0	0	0
中程度	0	0	0	0	0	0
高度	0	0	0	0	0	0
その他・無回答	0	0	0	0	0	0
合計	85	27	23	11	14	10

④栄研第2回目アセスメント	回答数	B 社栄養補助食品	C 社乳酸菌機能性食品	D 社水分補給ドリンクゼリー	D 社とろみ材	D 社ゼリー化材
Q9 腹水						
正常	85	27	23	11	14	10
軽度	0	0	0	0	0	0
中程度	0	0	0	0	0	0
高度	0	0	0	0	0	0
その他・無回答	0	0	0	0	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q12 対象製品の摂取による患者の状態についての意見（自由記述）						
患者が気に入り、定期的に飲みたがった	19	4	10	0	5	0
味が気に入らず残しがちだった	4	0	2	0	2	0
治療食としてなら飲めるが、嗜好品としては気に入らなかった	4	2	2	0	0	0
その他・無回答	58	21	9	11	7	10
合計	85	27	23	11	14	10

⑤栄養研究所 第2回目 患者用アンケート調査結果

⑤栄研第2回目患者 アンケート	回答数	B 社栄養補 助食品	C 社乳酸菌機能性 食品	D 社水分補給ド リンクゼリー	D 社とろみ材	D 社ゼリー化材
Q1. あなたの性別は？						
男性	18	5	9	2	2	0
女性	67	22	14	9	12	10
合計	85	27	23	11	14	10
Q2. あなたの年齢は？						
10-19 歳	1	1	0	0	0	0
20-29 歳	12	7	5	0	0	0
30-39 歳	8	0	3	0	2	3
40-49 歳	19	6	7	2	3	1
50-59 歳	19	8	4	3	2	2
60 歳以上	26	5	4	6	7	4
無回答	0	0	0	0	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q3. 自身の食生活についてどう思いますか？						
栄養が不足している	6	2	0	2	0	2
栄養が過剰である	55	18	19	5	9	4
わからない・無回答	10	1	3	3	3	0
問題ない	14	6	1	1	2	4
合計	85	27	23	11	14	10
Q4. 対象商品と類似の商品を実際に使ったことがありますか？あれば名称を教えてください。						
ある	5	0	1	0	1	3
ない	76	27	20	9	13	7
その他・無回答	4	0	2	2	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q5. 対象商品についてどのように感じますか。デザインについて						
良い	35	10	12	9	0	4
普通	35	17	11	2	3	2
悪い	4	0	0	0	4	0
その他・無回答	13	0	2	0	7	4
合計	87	27	25	11	14	10

⑤栄研第2回目患者 アンケート	回答数	B 社栄養補 助食品	C 社乳酸菌機能 性食品	D 社水分補給ド リンクゼリー	D 社とろみ材	D 社ゼリー化材
Q6 商品の特徴について						
わかりやすい	27	6	6	3	7	5
普通	33	10	13	1	6	3
わかりにくい	22	11	3	5	1	2
無回答	3	0	1	2	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q7 各製品の量は妥当でしょうか。						
少ない	13	11	0	1	1	0
ちょうど良い	60	16	15	8	12	9
多い	11	0	8	1	1	1
無回答	1	0	0	1	0	0
合計	85	27	23	11	14	10
Q8. 各製品の価格は妥当でしょうか。 (B 社栄養補助食品 360 ルーブル、C 社乳酸菌機能性食品 285 ルーブル、D 社水分補給ドリンクゼリー 150 ルーブル、D 社とろみ材 【1 個×3 g】 28 ルーブル、D 社ゼリー化材 【1 個×1.5 g】 33 ルーブル)						
非常に高い	18	12	2	4	0	0
高い	33	14	15	4	0	0
ちょうど良い	23	1	6	2	5	9
安い	6	0	0	1	5	0
非常に安い	5	0	0	0	4	1
合計	85	27	23	11	14	10
Q9. 気に入った点があれば選んで下さい。(複数回答)						
味	51	11	13	7	13	7
香り	21	9	7	0	10	5
色	9	0	7	0	11	2
デザイン	18	7	6	3	2	0
その他・無回答	7	3	0	1	2	1
合計	106	30	33	11	38	15
Q10. 今後日常的に対象商品を購入、利用したいと思いますか？						
はい	39	4	13	4	11	7
いいえ	46	23	10	7	3	3
合計	85	27	23	11	14	10

⑤栄研第2回目患者 アンケート	回答数	B 社栄養補 助食品	C 社乳酸菌機能 性食品	D 社水分補給ド リンクゼリー	D 社とろみ材	D 社ゼリー化 材
Q11. その理由を教えてください。(複数回答)						
味がいい	22	3	6	2	8	3
効能がいい	8	0	0	2	6	0
デザインがいい	4	1	1	1	1	0
値段が高い	14	10	0	4	0	0
味が悪い	15	10	2	1	1	1
その他・無回答	31	5	14	1	5	6
合計	94	29	23	11	21	10
Q12. この商品について、感じたことをお聞かせください。(複数回答)						
味がいい	12	3	2	3	4	0
効能がいい	11	5	3	0	3	0
香りがいい	1	0	0	1	0	0
デザインがいい	0	0	0	0	0	0
値段が高い	2	1	0	1	0	0
味が悪い	8	5	0	0	2	1
デザインが悪い	0	0	0	0	0	0
食品の味が変わらない	5	0	0	0	0	5
その他・無回答	54	16	18	7	9	4
合計	93	30	23	12	18	10

⑥栄養研究所 第2回目 医師アンケート調査結果

⑥栄養第2回目医師アンケート	回答数	B 社栄養補助食品	C 社乳酸菌機能性食品	D 社水分補給ドリンクゼリー	D 社とろみ材	D 社ゼリー化材
Q1.あなたの役職は？						
栄養士	0	0	0	0	0	0
医師	8	2	2	0	2	2
老年学医	0	0	0	0	0	0
研究部門職員	18	4	4	2	4	4
その他・無回答	6	0	2	0	2	2
合計	32	6	8	2	8	8
Q2. あなたの専門科は？						
栄養学	4	1	1	0	1	1
老年学	0	0	0	0	0	0
神経科	0	0	0	0	0	0
内科	24	2	7	1	7	7
内分泌学	2	1	0	1	0	0
その他・無回答	2	2	0	0	0	0
合計	32	6	8	2	8	8
Q3. 対象商品と類似の商品を実際に使ったことがありますか？(あれば名称と用途)						
Nestle 社 Nutridrink	3	0	1	2	0	0
ない	29	6	7	0	8	8
合計	32	6	8	2	8	8
Q4. 対象商品についてどのように感じますか？						
Q4-1. デザインについての良し悪しは？						
良い	12	6	4	2	0	0
普通	3	0	3	0	0	0
悪い	0	0	0	0	0	0
その他・無回答	17	0	1	0	8	8
合計	32	6	8	2	8	8
Q4-2. 商品の特徴について						
わかりやすい	12	2	3	1	3	3
普通	10	1	3	0	3	3
わかりにくい	4	3	0	1	0	0
その他・無回答	6	0	2	0	2	2
合計	32	6	8	2	8	8

⑥栄研第2回目医師アンケート	回答数	B 社栄養補助食品	C 社乳酸菌機能性食品	D 社水分補給ドリンクゼリー	D 社とろみ材	D 社ゼリー化材
Q4-3. 各製品の容量はどう感じますか？						
多い	6	2	3	1	0	0
ちょうど良い	4	1	3	0	0	0
少ない	4	3	0	1	0	0
その他・無回答	18	0	2	0	8	8
合計	32	6	8	2	8	8
Q4-4. 各製品の価格は妥当でしょうか？ (B 社栄養補助食品 360 ルーブル、C 社乳酸菌機能性食品 285 ルーブル、D 社水分補給ドリンクゼリー 150 ルーブル、D 社とろみ材 【1個×3g】28 ルーブル、D 社ゼリー化材 【1個×1.5g】33 ルーブル)						
非常に高い	3	3	0	0	0	0
高い	8	3	4	1	0	0
ちょうど良い	13	0	4	1	4	4
安い	8	0	0	0	4	4
非常に安い	0	0	0	0	0	0
合計	32	6	8	2	0	0
Q5. この製品の摂取を推奨したいと思うのはどのような方ですか？(複数回答)						
栄養不良の方、またそのリスクのある方 (MNA®判定)	1	1	0	0	0	0
食欲や食事量が低下している方	13	3	3	1	3	3
栄養バランスが取れていない方	29	6	7	2	7	7
たんぱく質が不足している方	0	0	0	0	0	0
合計	43	10	10	3	10	10
Q6. 高齢者向け機能性食品に求める機能や特長は何ですか？(複数回答)						
大きいエネルギー量	5	2	1	-	1	1
多様な栄養素	24	3	7	-	7	7
消化の容易さ	7	1	2	-	2	2
その他・無回答	6	3	1	-	1	1
合計	42	9	11	-	11	11

⑦ 栄養研究所（製品別）患者の感想及び医師のニーズ

患者には主観的感想（抵抗の有無、試行的感想等）

医師にはニーズ（販売希望の有無、有効的な使用法等の視点）を伺いました。

対象製品	B 社栄養補助食品
テスト導入対象患者	高血圧、脂肪肝の患者を中心
患者の感想	・およそ 70%の対象者が「デザインがいい」と回答した。 ・バナナ味に関して、今後当製品を利用したくないと回答した対象者の 10%が、「後味が悪い」ことを理由に挙げた。 ・イチゴ味を試した対象者の 30%が、「同様の製品を以前に利用したことがある」と回答した。
医師のニーズ	・砂糖の量が多い。バランスの取れたダイエットに取り入れるため、低糖バージョンがあればよい。 ・多様な味があるのがよい。飽きが来ないよう、多くの種類を展開してほしい。 ・病院食に取り入れる場合、グルコースの含有量などより詳細な成分情報を開示する必要がある。 ・現在ロシアでは老年学、高齢者医療に対する関心が高まりつつあり、栄養研究所としても強い関心を寄せている。ただ、ターゲットが高齢者ということを考慮しても、現在展開のあるものの他に、ロシア人により馴染みのある味（甘すぎず、後味のキレが良いなど）ができると良い。

対象製品	C 社乳酸菌機能性食品
テスト導入対象患者	肥満患者、脂肪肝、2 型糖尿病の患者を中心
患者の感想	・全員が味に関して肯定的な反応。「美味しい」「飲みやすい」 ・40%の対象者が毎日飲むのは抵抗があると答えたが、うち半数はたまになら飲んでもいいと回答した。 ・60%以上の方が量について、「ちょうど良い」あるいは「多すぎる」と回答した。 ・価格に関して、およそ 90%の対象者が「高すぎる」「高い」と回答した。
医師のニーズ	・ダイエット食品として、ロシア市場で可能性がある。 ・実験によって効果を証明する論文があれば提供してほしい。 ・栄養研究のダイエットプログラムに含められる可能性がある。 ・ロシアで認知されていない種類の乳酸菌が使われているので、病院食として取り入れることができるか疑問。 ・細菌学の発展の為に、乳酸菌自体の特許を取得してはどうか。特許があれば、ロシア連邦での本細菌の独占輸入権を特定のロシア法人に与えることもできる。ロシアでは、食用の乳酸菌は家畜用のもの（エサの生産工程で用いられるもの）しか登録されていないので、関心がある。人間に対する安全性の証明のため、乳酸菌の由来などを含む、詳細な情報が不可欠である。おそらく日本にはこの乳酸菌の*エスクローサービスを行う企業があると考えるが、国際的なエスクローエージェンシーがあればさらに良い。

*エスクローサービス：商取引の安全性を保証する仲介サービスのこと。

対象製品	D 社水分補給ドリンクゼリー
テスト導入 対象患者	肥満、2型糖尿病の患者を中心
患者の感想	・対象者全員が、同様の製品を初めて食べたと回答した。 ・およそ 80%の対象者が「ちょうど良い容量」と回答した。 ・およそ 65%の対象者が、今後も定期的に対象製品を食べたいと回答した。
医師の ニーズ	・あまり甘くないのが美味しい。 ・アレルギーのある患者もいるため、デキストリンの由来などより詳しい成分情報が必要。

対象製品	D 社とろみ材
テスト導入 対象患者	消化器疾患を持つ患者を中心
患者の感想	・およそ 80%の対象者が製品を定期的に服用することに抵抗があると回答した。その理由として多くの対象者が「料理の味が変わってしまう」と回答した。ただ、今回の対象者は嚥下障害を抱える患者では無いことも考慮する必要がある。 ・およそ 25%の対象者が、対象製品に好意的な反応をした。
医師の ニーズ	・嚥下に問題のいる患者が少ないので、導入の可能性は厳しいかも知れない。 ・アレルギーのある患者もいるため、デキストリンの由来などより詳しい成分情報が必要。

対象製品	D 社ゼリー化剤
テスト導入 対象患者	消化器疾患を持つ患者を中心
患者の感想	・およそ 80%の対象者が製品を定期的に服用することに抵抗があると回答した。その理由として多くの対象者が「食感が気に入らない」と回答した。ただ、今回の対象者は嚥下障害を抱える患者では無いことも考慮する必要がある。 ・価格に関して、およそ 87.5%の対象者が「ちょうど良い」と回答した。
医師の ニーズ	・嚥下に問題のいる患者が少ないので、導入の可能性は厳しいかも知れない。 ・アレルギーのある患者もいるため、デキストリンの由来などより詳しい成分情報が必要。 ・調理後の煮沸消毒ができないので、保温など、ソフティア G を調理できる設備を整える必要があるのではないか。

栄養研究所 身体計測データ (患者の調査期間内での変化)

B 社栄養補助食品

指標	平均値 (相加平均±標準誤差)	
年齢	45,5±18,4	
身長 (m)	164,7±9,1	
	試験前	試験後
体重 (kg)	98,1±38,9	96,3±37,5
肩周り (cm)	32,2±9,6	31,9±9,6
腹囲 (cm)	98,5±28,5	97,4±26,1
太もも周り (cm)	111,6±24,2	110,4±24,0
太もも周り (片方) (cm)	57,5±14,6	56,9±14,6

C 社乳酸菌機能性食品

指標	平均値 (相加平均±標準誤差)	
年齢	43,7±13,6	
身長 (m)	170,4±9,1	
	試験前	試験後
体重 (kg)	106,6±19,6	102,8±18,0
肩周り (cm)	38,3±6,2	36,9±5,8
腹囲 (cm)	116,9± 15,0	114,4±14,3
太もも周り (cm)	123,2± 9,6	120,1±9,6
太もも周り (片方) (cm)	57,0±9,6	55,0±9,3

D 社水分補給ドリンクゼリー

指標	平均値 (相加平均±標準誤差)	
年齢	45,5±18,4	
身長 (m)	164,7±9,1	
	試験前	試験後
体重 (kg)	98,1±38,9	96,3±37,5
肩周り (cm)	32,2±9,6	31,9±9,6
腹囲 (cm)	98,5±28,5	97,4±26,1
太もも周り (cm)	111,6±24,2	110,4±24,0
太もも周り (片方) (cm)	57,5±14,6	56,9±14,6

栄養研究所 作成者一覧

予防・リハビリ栄養学部門長、医学準博士	Gapparova K.M.
ロシア連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター附属病院院長、医学博士	Zainudinov Z.M.
循環器科病理学部門主任研究員、医学準博士	Derbeneva C.A.
予防・リハビリ栄養学部門研究員、医学準博士	Lapik I.A.
消化器科・血液学部門主任研究員、医学準博士	Pilipenko V.I.
代謝疾患部門主任研究員、医学準博士	Pilipenko V.V.
パーソナルセラピー栄養学部門研究員	Livantsova E.N.
パーソナルセラピー栄養学部門準研究員	Varaeva Yu.R.

参考資料 I 各アンケートの質問票

(1)【黄金の秋でのアンケート】(対象製品：一般介護用機能性食品)

Q1 介護用機能性食品を使ったことがあるか

はい いいえ 無回答

Q2 家族内に咀嚼、嚥下に問題のある人はいるか (%)

はい いいえ 無回答

Q3 (Q2ではいと答えた人に対して) その人のために特別な料理を作っているか。

その場合、どんな料理か

(自由回答)

Q4 ロシアに介護用機能性食品の需要はあると考えるか

はい いいえ 無回答

Q5 各製品の価格はどの程度がいいか

100-200 ルーブル 200-300 ルーブル その他・無回答

Q6 各製品の容量はどの程度が良いか

100-200g 200-300g その他・無回答

Q7 どのような料理・味の機能性食品があったら買ってみたいか

(自由回答)

Q8 回答者性別分布

女性 男性 無回答

Q9 回答者年齢分布

10代 20代 30代 40代 50代 60代以上

(2) 【栄養学カンファレンスでのアンケート】

(対象製品：C 社乳酸菌機能性食品、D 社ゼリー化材、D 社水分補給ドリンクゼリー)

Q1 今日あなたが紹介された製品はどれか (○はひとつ)

D 社ゼリー化材使用の形成ゼリー D 社とろみ材使用のとろみジュース D 社水分補給ドリンクゼリー
C 社乳酸菌機能性食品

Q2 紹介されていた製品に関して、類似の製品を使用した経験はありますか

はい いいえ 未回答

Q3 紹介されていた製品に関して、介護及び治療の現場で実際に使用したいと感じましたか

はい いいえ 未回答

Q4 紹介されていた製品に関して、どのような患者にとって有用だと考えますか？ (○はいくつでも)

高齢者 (在宅) 高齢者 (入院) 嚥下機能に障害を負ったあらゆる患者 手術後等の衰弱した患者
摂食障害患者 小児患者 その他 未回答

Q5 紹介されていた製品に関して、どのような使用法が有効だと考えますか？ (○はいくつでも)

普段の食事の補助 (在宅) 普段の食事の補助 (病院食) 糖質/塩分等の制限食
特定の傷病の治療食 嗜好品 その他

Q6 紹介されていた製品のパッケージ/容量についてどのように感じますか？ (○はいくつでも)

デザインが良い デザインが魅力的でない 製品内容がわかりやすい 量が少ない 量が多い

Q7 紹介されていた製品の価格についてどのように感じますか？ (○はひとつ)

非常に高い 高い ちょうどよい 安い 非常に安い

Q8 あなたは、紹介されていた製品を購入したいと思いますか？ (○はひとつ)

ぜひ購入したい 興味がわいたので検討する 見かけたら購入するかもしれない 購入したいと思わない

Q9 紹介されていた製品のパッケージ/容量についてどのように感じますか (○はいくつでも)

デザインが良い デザインが魅力的でない 製品内容がわかりやすい 量が少ない 量が多い

Q10 回答者性別分布 男性 女性

Q11 回答者年齢分布 10代 20代 30代 40代 50代 60代以上

Q12 回答者職業分布 研究者 (医学/栄養学) 研究者 (その他) 医師 (国立病院) 医師 (私立病院)
栄養士 医療機関勤務 医療関係企業 その他

(3) 【ABC 薬局でのアンケート】

(対象：A 社栄養補助食品、B 社栄養補助食品、C 社乳酸菌機能性食品、D 社水分補給ドリンクゼリー、D 社栄養補給ゼリー、D 社とろみ材)

- Q1 6つの栄養機能性食品のうち、どれを紹介されましたか？
- Q2 あなたの性別は？ 女性 男性
- Q3 あなたの年代は？ 10代 20代 30代 40代 50代 60代以上
- Q4 介護用機能性食品を使ったことがありますか？ はい いいえ
- Q5 家族内に咀嚼、嚥下に問題のある人はいますか？ はい いいえ
- Q6 (Q5ではいと答えた人に対して)
その人のために特別な料理を作っていますか？いるとしたらそれはどんな料理ですか？(自由回答)
特になし／無回答 穀物のおかゆ ピューレ すりおろし野菜・果物 蒸し物 キセーリ
- Q7 ロシアに介護用機能性食品の需要はあると考えますか？ はい いいえ
- Q8 各製品の容量はどのくらいがいいと思いますか？
もっと多い方がよい もっと少ない方がよい ちょうどよい その他
- Q9 各製品の価格は適正だと考えますか？
A 社栄養補助食品 405 ルーブル B 社栄養補助食品 360 ルーブル
C 社乳酸菌機能性食品 285 ルーブル D 社水分補給ドリンクゼリー 150 ルーブル
D 社栄養補給ゼリー 240 ルーブル D 社とろみ材 (3g×50) 1380 ルーブル
- Q10 どのような料理・味の機能性食品があったら買ってみたいと思いますか？(自由回答)
肉料理 魚料理 野菜のみの料理 果実のみの料理 乳酸菌食品 日本料理 食塩不使用／減塩
砂糖不使用／減糖 化学調味料／保存料無添加
- Q11 その他栄養機能性食品に関しての意見・要望等(自由回答)
美味しかった、気に入った 価格を安くしてほしい 胃腸の疾患にも対応してほしい
子供にも使えるものがほしい 特になし

(4)【テスト導入アンケート】・①高齢者クリニック

(対象：A 社栄養補助食品・D 社栄養補給ゼリー)

①-1【栄養状態事前スクリーニング用アンケート】(簡易栄養状態評価表 MNA®-SF に基づく)

(患者番号)

Q1 性別 ・男性・女性

Q2 年齢 ・39 歳以下 ・40-49 歳 ・50-59 歳 ・60-69 歳 ・70-79 歳 ・80 歳以上

Q3 病名 (診断)

Q4 既往歴 ・食生活に関する特記事項

Q5 因子 ・家族歴 (肥満傾向、糖尿病、高血圧、心臓病、痛風)

・生活歴 (生活習慣、健康を害する恐れのある習慣、仕事内容、ストレス)

Q6- 1 身長 ・～159cm ・160 ～169cm ・170 ～179cm ・180cm～

2 体重 ・～59kg ・60kg～79kg ・80kg ～99kg ・100kg～

3 血圧 ・高血圧 (最高血圧 140～) ・正常 (最高血圧 100～139) ・低血圧 (最高血圧～99)

Q7 過去 3 ヶ月間で食欲不振、消化器系の問題、そしてく・嚥下困難などで食事が減少しましたか？

・著しい食事量の減少 ・中等度の食事量の減少 ・食事量の減少なし

Q8 過去 3 ヶ月間で体重の減少がありましたか？

・3 kg 以上の減少

・わからない

・1～3 kg の減少

・体重減少なし

Q9 自力で歩けますか？

・寝たきりまたは車椅子を常時使用

・ベッドや車椅子を離れられるが、歩いて外出はできない

・自由に歩いて外出できる

Q10 過去 3 ヶ月間で精神的ストレスや急性疾患を経験しましたか？ ・はい ・いいえ

Q11 神経・精神的問題の有無

・強度認知症またはうつ状態

・中程度の認知症

・精神的問題なし

Q12 BMI 体重 (kg) ÷ [身長 (m)]²

・BMI が 19 未満 ・BMI が 19 以上、21 未満

・BMI が 21 以上、23 未満 ・BMI が 23 以上

Q13 食事の状況 ・介護なしでは食事不可能

・多少困難ではあるが自力で食事可能 ・問題なく自力で食事可能

Q14 低栄養状態指標スコア ・栄養状態良好

・低栄養のおそれあり (At risk) ・低栄養 ・その他

①-2【栄養状態アセスメント用アンケート】（主観的包括的アセスメント（SGA）を一部利用）

- Q1 調査期間内での変化
・改善 ・悪化 ・変化なし ・その他
- Q2 対象製品の利用によって得られた効果
・効果なし ・効果あり ・その他
- Q3 効果があつた場合の内容（複数回答）
・気分の改善 ・食欲の増加 ・体重の増加 ・誤嚥リスクの増加 ・その他
- Q4 今後、患者に対して対象製品を推奨する意思
・あり ・なし
- Q5 その理由（複数回答）
・価格 ・効能 ・味 ・パッケージ ・その他（自由記述）
- Q6 上記に当てはまらない場合（複数回答）
・低栄養状態に適応 ・うつなど精神的症状の改善 ・嚥下障害・麻痺への適応
・疲労感の減少 ・その他
- Q7 紹介された製品に関して、どのような使用法が有効だと考えますか。（○はいくつでも）
・普段の食事の補助として（在宅） ・普段の食事の補助として（病院食）
・糖質/塩分等の制限食として ・特定の傷病の治療食として ・嗜好品として
- Q8 体重の変化
・3kg 以上の増加 ・3kg 未満の増加 ・変化なし ・3kg 未満の減少
・3kg 以上の減少 ・その他・無回答
- Q9 消化管症状（摂取期間にわたって継続しているもの）
・なし ・嘔気 ・嘔吐 ・下痢 ・食欲不振 ・その他
- Q10-a 理学的所見 踝部の浮腫
・正常 ・軽度 ・中程度 ・高度
- Q10-b " 仙骨部の浮腫
・正常 ・軽度 ・中程度 ・高度
- Q10-c " 腹水
・正常 ・軽度 ・中程度 ・高度
- Q11 低栄養状態指標スコア
・栄養状態良好 ・低栄養のおそれあり（At risk） ・低栄養
- Q12 血圧
・高血圧（最高血圧 140～） ・正常（最高血圧 100～139）
・低血圧（最高血圧～99）
- Q13 対象製品の摂取により関連する患者の状態の医師による所見（自由記述）
・価格が高い ・その他

①-3【患者用アンケート】

Q1 あなたの性別は？

・男性 ・女性

Q2 あなたの年齢は？

・39歳以下 ・40-49歳 ・50-59歳 ・60-69歳 ・70-79歳 ・80歳以上

Q3 自身の食生活についてどう思いますか。ひとつお選びください。

・栄養が不足している ・栄養が過剰である ・わからない ・問題ない

Q4 対象製品と類似の製品を実際に使ったことがありますか？

・はい お使いの製品名（ ） ・いいえ

Q5 最も気に入った味はなんですか？

A 社栄養補助食品 ・コーンスープ ・ストロベリー ・ヨーグルト

・白桃ヨーグルト ・どれも気に入らなかった ・その他

D 社栄養補給ゼリー ・オレンジ ・ピーチ ・青りんご

・どれも気に入らなかった ・その他

Q6 紹介された製品についてどのように感じますか。

1 デザインについての良し悪しは？

・良い ・普通 ・悪い

2 製品の特徴は分かりやすいですか？

・わかりやすい ・普通 ・わかりにくい

3 各製品の容量はどう感じますか？

・多い ・ちょうどよい ・少ない

4 各製品の価格はどのくらいがいいですか？

(A 社栄養補助食品 405 ルーブル D 社栄養補給ゼリー 240 ルーブル)

・非常に高い ・高い ・ちょうど良い ・安い ・非常に安い

5 気に入った点を選んでください。(複数回答)

・味 ・香り ・色 ・デザイン ・気に入った点なし

Q7-1 今後日常的に対象製品を購入、利用したいと思いますか？

・はい ・いいえ

Q7-2 その理由を教えてください。

・味がいい ・効能がいい ・デザインがいい

・味が悪い ・値段が高い ・簡単に食べられる ・その他

Q8 この製品について、感じたことをお聞かせください。

・味がいい ・香りがいい ・デザインがいい ・味が悪い

・デザインが悪い ・機能的である ・値段を下げたほうが良い(高い)

①-4【医師用アンケート】

Q1 あなたの役職は？

・栄養士 ・医師 ・老年学医 ・研究部門職員 その他

Q2 あなたの専門科は？

・栄養学 ・老年学 ・神経科 ・内科 ・内分泌学 ・その他

Q3 対象製品と類似の製品を実際に使ったことがありますか？（あれば名称と用途）

・ある ・B.Brown 社 Nutricomp（A 社栄養補助食品の類似品）
・Nestle 社 Peptamen（D 社栄養補給ゼリーの類似品） ・ない

Q4 対象製品についてどのように感じますか？

1 デザインについての良し悪しは？

・良い ・普通 ・悪い

2 製品の特徴はわかりやすいですか？

・わかりやすい ・普通 ・わかりにくい

3 各製品の容量はどう感じますか？

・多い ・ちょうど良い ・少ない

4 各製品の価格は妥当でしょうか？（A 社栄養補助食品 405 ルーブル
D 社栄養補給ゼリー 240 ルーブル）

・非常に高い ・高い ・ちょうど良い ・安い ・非常に安い

Q5 この製品の摂取を推奨したいと思うのはどのような方ですか？（複数回答）

・栄養不良の方、またはそのリスクがある方（MNA®判定）
・食欲や食事が低下している方
・栄養バランスが取れていない方
・たんぱく質が不足している方

(4)【テスト導入アンケート】 - ②栄養研究所

(対象：B 社栄養補助食品・C 社乳酸菌機能性食品・D 社水分補給ドリンクゼリー・

D 社とろみ材・D 社ゼリー化材)

②-1【栄養状態事前スクリーニング用アンケート】(簡易栄養状態評価表 MNA®-SF に基づく)

Q1 性別

Q2 年齢 ・ 10-19 歳 ・ 20-29 歳 ・ 30-39 歳 ・ 40-49 歳 ・ 50-59 歳 ・ 60 歳以上

Q3 病名 (診断) ※既往症・食生活に関する特記事項・因子 (家族歴・生活歴) を含む

Q4 身長 ・ ～159cm ・ 160 ～169cm ・ 170 ～179cm ・ 180cm～

Q5 体重 ・ ～59kg ・ 60kg～79kg ・ 80kg ～99kg ・ 100kg～

Q6 血圧 ・ 高血圧 (最高血圧 140～) ・ 正常 (最高血圧 100～139) ・ 低血圧 (最高血圧～99)

Q7 過去 3 ヶ月間で食欲不振、消化器系の問題、そしゃく・嚥下困難などで食事が減少しましたか？

- ・ 著しい食事量の減少
- ・ 中等度の食事量の減少
- ・ 食事量の減少なし

Q8 過去 3 ヶ月間で体重の減少がありましたか？

- ・ 3 kg 以上の減少
- ・ わからない
- ・ 1～3 kg の減少
- ・ 体重減少なし

Q9 自力で歩けますか？

- ・ 寝たきりまたは車椅子を常時使用
- ・ ベッドや車椅子を離れられるが、歩いて外出はできない
- ・ 自由に歩いて外出できる

Q10 過去 3 ヶ月間で精神的ストレスや急性疾患を経験しましたか？ ・ はい ・ いいえ

Q11 神経・精神的問題について

- ・ 強度認知症またはうつ状態
- ・ 中程度の認知症
- ・ 精神的問題なし

Q12 BMI [体重 (kg) ÷ [身長 (m)]²

- ・ BMI が 19 未満
- ・ BMI が 19 以上、21 未満
- ・ BMI が 21 以上、23 未満
- ・ BMI が 23 以上

Q13 食事の状況 ・ 介護なしでは食事不可能

- ・ 多少困難ではあるが自力で食事可能
- ・ 問題なく自力で食事可能

Q14 低栄養状態指標スコア ・ 栄養状態良好 ・ 低栄養のおそれあり (At risk) ・ 低栄養

②-2【栄養状態アセスメント用アンケート】（主観的包括的アセスメント（SGA）を一部利用）

Q1 体重

・～59kg ・60kg～79kg ・80kg ～99kg ・100kg～

Q2 血圧

・高血圧（最高血圧 140～） ・正常（最高血圧 100～139） ・低血圧（最高血圧～99）

Q3 栄養状態アセスメント

・栄養状態良好 ・低栄養のおそれあり（At risk）・低栄養

Q4 入院期間中（調査期間中）の患者の消化器管症状について

・特に問題なし ・嘔気 ・嘔吐 ・下痢 ・食欲不振

Q5 皮下脂肪は減少しましたか？（三頭筋、胸部）

・特に問題なし ・わずかに減少 ・減少 ・明らかに減少 ・その他

Q6 理学的所見

1 上腕周囲長	・ 30cm 未満	・ 30cm 以上 50cm 未満	・ 50cm 以上
2 腹囲（ウエスト）	・ 90cm 未満	・ 90cm 以上 130cm 未満	・ 130cm 以上
3 腰回（ヒップ）	・ 100cm 未満	・ 100cm 以上 140cm 未満	・ 140cm 以上
4 大腿周囲長	・ 50cm 未満	・ 50cm 以上 80cm 未満	・ 80cm 以上

Q7 理学的所見

踝部の浮腫

・正常 ・軽度 ・中程度 ・高度

Q8 //

仙骨部の浮腫

・正常 ・軽度 ・中程度 ・高度

Q9 //

腹水

・正常 ・軽度 ・中程度 ・高度

Q10 試験製品を摂取した患者の状態についての意見

・患者が気に入り、定期的に飲みたがった
・味が気に入らず残しがちだった
・治療食としてなら飲めるが、嗜好品としては気に入らなかった

②-3【患者用アンケート】

Q1 あなたの性別は？

・男性 ・女性

Q2 あなたの年齢は？

・10-19 歳 ・20-29 歳 ・30-39 歳 ・40-49 歳 ・50-59 歳 ・60 歳以上

Q3 自身の食生活についてどう思いますか。ひとつお選びください。

・栄養が不足している ・栄養が過剰である ・わからない ・問題ない

Q4 対象製品と類似の製品を実際に使ったことがありますか。あれば名称を教えてください。

・ある お使いの製品名 () ・ない

Q5 対象の製品についてどのように感じますか。デザインについて

・良い ・普通 ・悪い

Q6 製品の特徴について

・わかりやすい ・普通 ・わかりにくい

Q7 量について

・少ない ・ちょうどよい ・多い

Q8 価格について

(B 社栄養補助食品 360 ルーブル、C 社乳酸菌機能性食品 285 ルーブル、
D 社水分補給ドリンクゼリー 150 ルーブル、D 社とろみ材 とろみ食用(1 個×3 g) 28 ルーブル、
D 社ゼリー化材 とろみ食用(1 個×1.5 g) 33 ルーブル)

・非常に高い ・高い ・ちょうど良い ・安い ・非常に安い

Q9 気に入った点があれば選んでください。(複数回答)

・味 ・香り ・色 ・デザイン ・その他

Q10 今後日常的に対象製品を購入、利用したいと思いますか。

・はい ・いいえ

Q11 その理由を教えてください。

・味がいい ・効能がいい ・デザインがいい
・値段が高い ・味が悪い ・その他

Q12 この製品について、感じたことをお聞かせください。

・味がいい ・効能がいい ・香りがいい ・デザインがいい
・値段が高い ・味が悪い ・デザインが悪い ・その他

②-4【医師用アンケート】

Q1 あなたの役職は？

・栄養士 ・医師 ・老年学医 ・研究部門職員 その他

Q2 あなたの専門科は？

・栄養学 ・老年学 ・神経科 ・内科 ・内分泌学 ・その他

Q3 対象製品と類似の製品を実際に使ったことがありますか？（あれば名称と用途）

・ある
・ない

Q4 対象製品についてどのように感じますか？

1 デザインについての良し悪しは？

・良い ・普通 ・悪い

2 製品の特徴について

・わかりやすい ・普通 ・わかりにくい

3 各製品の容量はどう感じますか？

・多い ・ちょうど良い ・少ない

4 各製品の価格は妥当でしょうか？

(B 社栄養補助食品 360 ルーブル、C 社乳酸菌機能性食品 285 ルーブル、
D 社水分補給ドリンクゼリー 150 ルーブル、D 社とろみ材 とろみ食用(1 個×3 g) 28 ルーブル、
D 社ゼリー化材 とろみ食用(1 個×1.5 g) 33 ルーブル))
・非常に高い ・高い ・ちょうど良い ・安い ・非常に安い

Q5 この製品の摂取を推奨したいと思うのはどのような方ですか？（複数回答）

・栄養不良の方、またはそのリスクがある方（MNA®判定）
・食欲や食事量が低下している方
・栄養バランスが取れていない方
・たんぱく質が不足している方

Q6 高齢者向け機能性食品に求める機能や特長は何ですか？

・大きいエネルギー量
・多様な栄養素
・消化の容易さ

参考資料 II グラフ化したアンケート結果の実数データ

(1) 黄金の秋

	回答内容	回答数	割合(%)		回答内容	回答数	割合(%)
Q1 介護用機能性食品を使ったことがあるか (%)	はい	54	27	Q7 どのような料理・味の機能性食品があったら買ってみたいと思いますか？(複数回答可)	肉料理	28	11.9
	いいえ	146	73		魚料理	24	10.2
	無回答	0	0		野菜のみの料理	38	16.1
	合計	200	100		果実のみの料理	50	21.2
Q2 家族内に咀嚼、嚥下に問題のある人はいるか	はい	91	45.5		乳酸菌食品	15	6.4
	いいえ	106	53		日本料理	8	3.4
	無回答	3	1.5		食塩不使用/減塩	11	4.7
	合計	200	100		砂糖不使用/減糖	6	2.5
Q3 (Q2ではいと答えた人に対して) その人のために特別な料理を作っているか？いるとしたらそれはどんな料理か？(複数回答可)	特になし/無回答	98	44.1		化学調味料/保存料無添加	13	5.5
	穀物のおかず	56	25.2		無回答	43	18.2
	ビュッレ	23	10.4		合計	236	100
	スープ・煮物	17	7.7	Q8 性別	女	131	65.5
	すりおろし野菜・果物	12	5.4		男	57	28.5
	蒸し物	9	4.1		無回答	12	6
	キセーリ	4	1.8		合計	200	100
	パスタ	2	0.9	Q9 年齢	10-19 歳	15	7.5
	ご飯もの	1	0.5		20-29 歳	27	13.5
	合計	222	100		30-39 歳	15	7.5
Q4 ロシアに介護用機能性食品の需要はあると考えるか	はい	154	77		40-49 歳	28	14
	いいえ	16	8		50-59 歳	38	19
	無回答	30	15		60 歳以上	77	38.5
	合計	200	100		合計	200	100
Q5 各製品の価格はどのくらいがいいか	100-200 P	110	55				
	200-300 P	65	32.5				
	その他・無回答	25	12.5				
	合計	200	100				
Q6 各製品の容量はどのくらいがいいか	100-200 g	153	76.5				
	200-300 g	26	13				
	その他・無回答	21	10.5				
	合計	200	100				

(2) 栄養学カンファレンス

質問	回答	No.	回答数	割合	質問	回答	No.	回答数	割合
Q1 今日あなたが紹介を受けた製品はどれですか。(〇はひとつ)	ソフティア g 形成ゼリー	1	38	33%	Q7 紹介されていた商品の価格についてどのよう感じますか。(〇はひとつ)	非常に高い	1	3	2%
	ソフティア s とろみジュース	2	8	7%		高い	2	27	19%
	アイソニックゼリー	3	14	12%		ちょうどよい	3	99	69%
	カラダカルピス	4	1	1%		安い	4	5	3%
	未回答	未	54	47%		非常に安い	5	0	0%
Q2 紹介されていた製品に関して、類似の製品を使用した経験はありますか。	はい	1	24	16%	Q8 あなたは、紹介されていた商品を購入したいと思いますか。(〇はひとつ)	未回答	未	9	6%
	いいえ	2	128	84%		ぜひ購入したい	1	23	14%
	未回答	未	1	1%		興味がありましたので検討する	2	90	54%
	未回答	未	1	1%		見かけたら購入するかもしれない	3	47	28%
Q3 紹介されていた製品に関して、介護および治療の現場で実際に使用したいと感じましたか。	はい	1	151	97%		購入したいとは思わない	4	2	1%
	いいえ	2	0	0%	Q9 あなたが、紹介されていた商品を購入したい/購入したくないと思ったのはなぜですか。あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)	未回答	未	5	3%
	未回答	未	4	3%		価格	1	39	19%
	未回答	未	4	3%		効能	2	77	37%
Q4 紹介されていた製品に関して、どのような患者にとって有効だと考えますか。(〇はいくつでも)	高齢者(在宅)	1	88	22%		味	3	41	20%
	高齢者(入院)	2	55	14%	Q10 性別	パッケージ	4	26	13%
	嚥下機能障害をもつ患者	3	79	20%		その他	5	21	10%
	手術後などの衰弱患者	4	67	17%		未回答	未	4	2%
	摂食障害患者	5	61	15%	Q11 年齢	男性	1	17	12%
	小児患者	6	37	9%		女性	2	117	81%
	その他	7	10	3%		未回答	未	10	7%
	未回答	未	1	0%		10代	1	1	1%
	未回答	未	1	0%		20代	2	18	11%
Q5 紹介されていた製品に関して、どのような使用法が有効だと考えますか。(〇はいくつでも)	普段の食事の補助(在宅)	1	95	29%		30代	3	41	26%
	普段の食事の補助(病院食)	2	57	17%		40代	4	44	28%
	糖質塩分等の制限食	3	42	13%		50代	5	38	24%
	特定の傷病の治療食	4	73	22%		60代以上	6	12	8%
	嗜好品	5	51	16%		未回答	未	6	4%
	その他	6	10	3%	Q12 職業	研究者(医学/栄養学)	1	16	8%
	未回答	未	0	0%		研究者(その他)	2	13	6%
Q6 紹介されていた商品のパッケージ/容量についてどのように感じますか。(〇はいくつでも)	デザインが良い	1	114	57%		医師(国立病院)	3	43	21%
	デザインが魅力的でない	2	3	2%		医師(私立病院)	4	28	14%
	商品内容がわかりやすい	3	47	24%		栄養士	5	61	30%
	量が少ない	4	30	15%		医療機関勤務	6	15	7%
	量が多い	5	5	3%		医療関係企業	7	4	2%
	未回答	未	0	0%		その他	8	13	6%
						未回答	未	8	4%